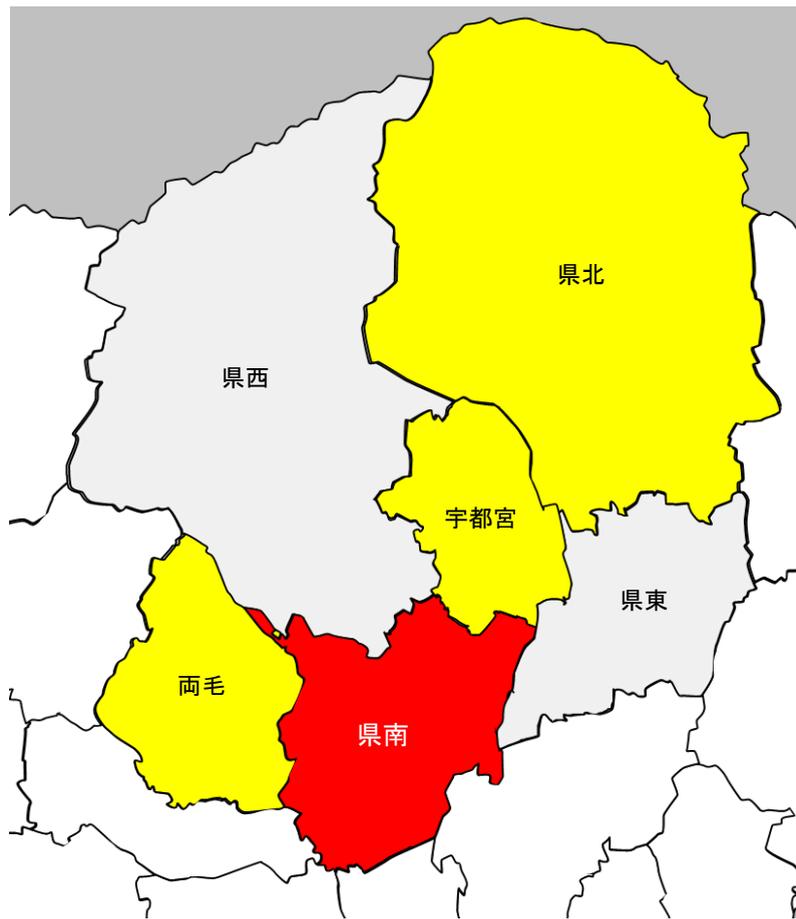


# 9. 栃木県

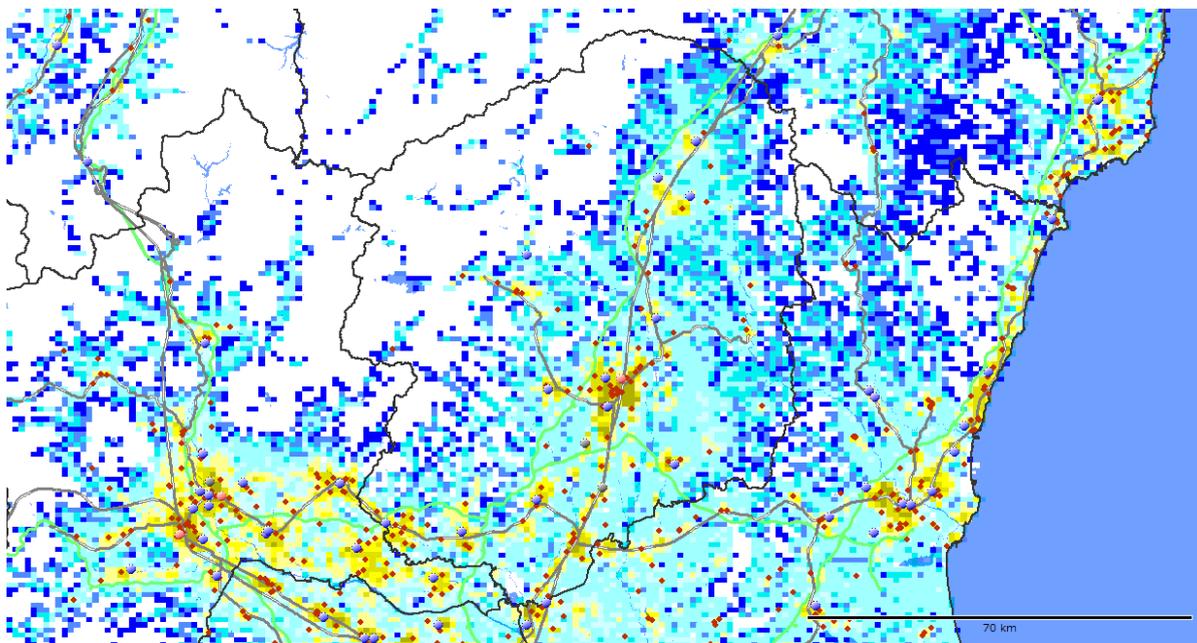


目次

栃木県	9 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料 .....	9 - 8
1. 県北医療圏 .....	9 - 20
2. 県西医療圏 .....	9 - 25
3. 県東医療圏 .....	9 - 30
4. 宇都宮医療圏 .....	9 - 35
5. 県南医療圏 .....	9 - 40
6. 両毛医療圏 .....	9 - 45

# 9. 栃木県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## （栃木県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 栃木県は、総人口約1974千人（2015年推計）、面積6408km<sup>2</sup>、人口密度は308人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 栃木県の総人口は2025年に1867千人へと減少し（2015年比－5%）、2040年に1643千人へと減少する（2025年比－12%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の242千人が、2025年にかけて322千人へと増加し（2015年比＋33%）、2040年には347千人へと増加する（2025年比＋8%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 栃木県の一人当たり医療費（国保）は289千円（偏差値43）、介護給付費は228千円（偏差値43）であり、医療費、介護給付費ともに低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 栃木県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.85で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が48（病院医師数50、診療所医師数46）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 栃木県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、22164人（75歳以上1000人当たりの偏差値45）と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が14530床（偏差値50）、高齢者住宅等が7634床（偏差値45）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、19012人（75歳以上1000人当たりの偏差値52）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム41、軽費ホーム57、グループホーム45、サ高住54である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値41と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員（在宅）の合計は、2140人（75歳以上1000人当たりの偏差値41）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は－52%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

栃木県の総人口は、2005年2016631人が、2015年に1973738人と2%減少し、2025年の人口が1867192人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

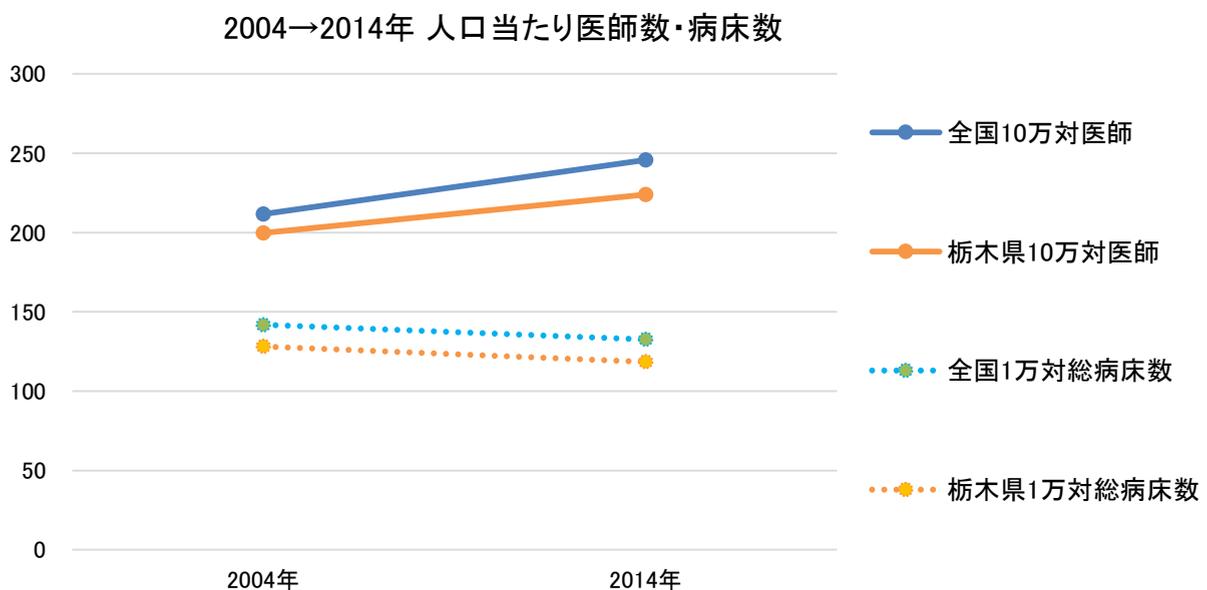
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が118(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に109(人口10万人当たり5.5病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が1358(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に1424(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、66診療所が増加した。

2004年の総病床数が25855床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に23384床(人口1万人当たり118(全国平均133)偏差値47)と、2471床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

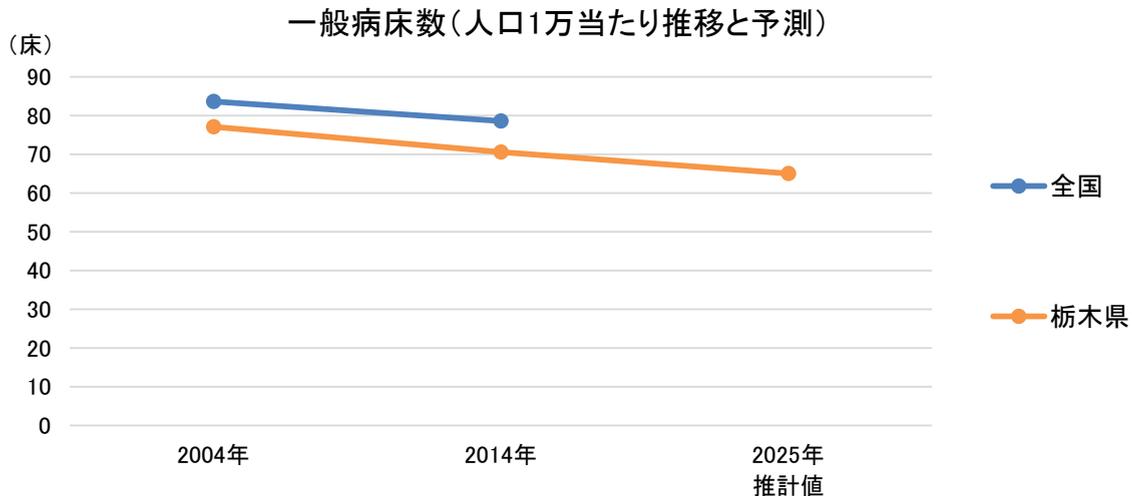
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が4030人(人口10万人当たり200人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に4421人(人口10万人当たり224人(全国平均246人)偏差値48)と、391人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 9. 栃木県（2016年版）

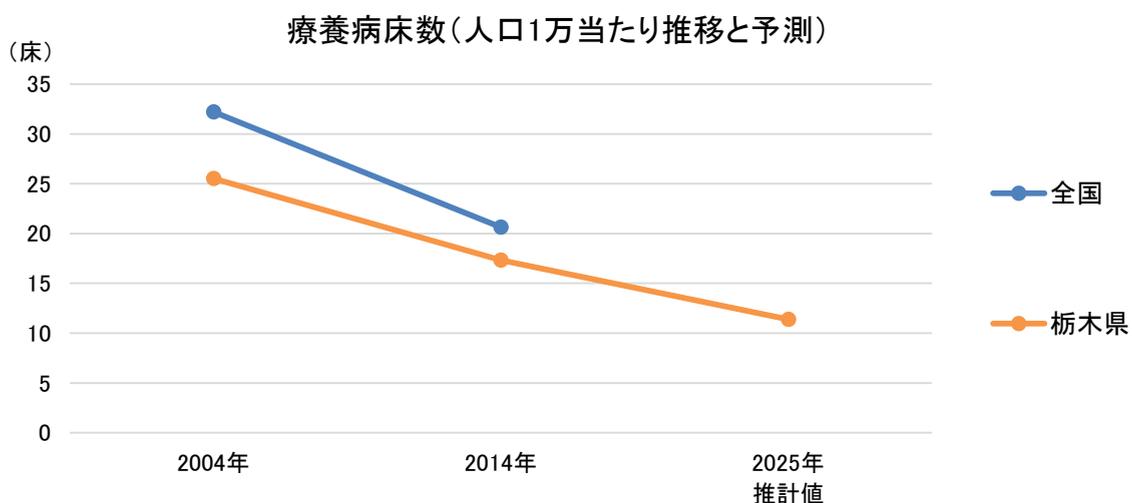
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が15549床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に13931床(人口1万人当たり71(全国平均79)偏差値47)と、1618床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には12152床(2025年の推計人口1万人当たり65)になることが予想される。



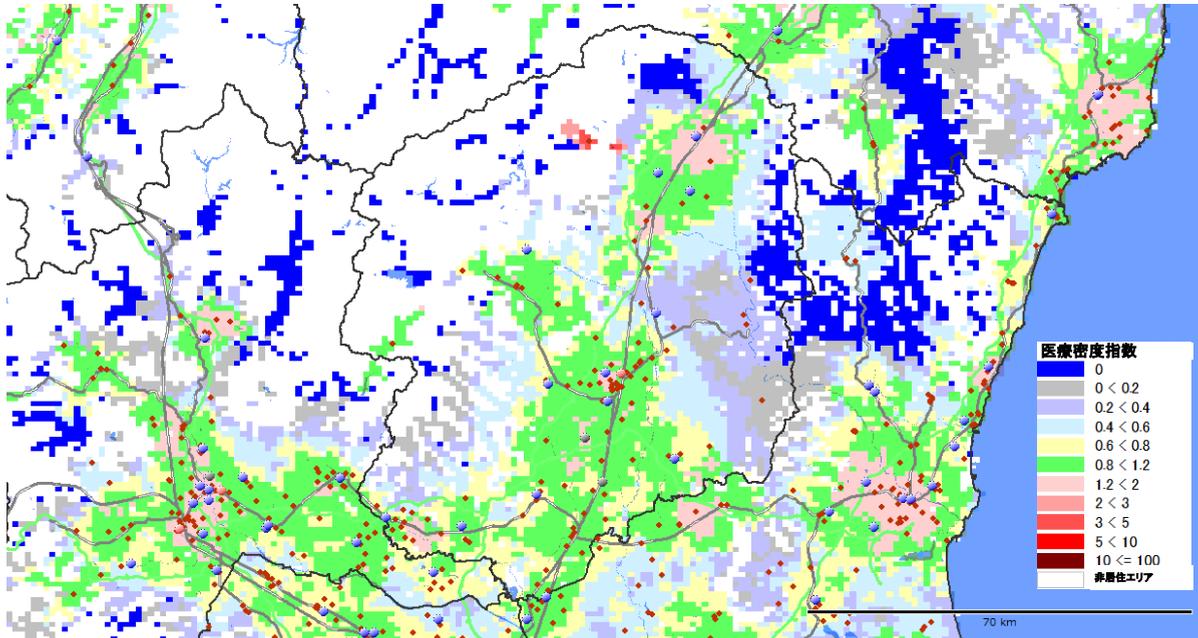
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4690床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に4202床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値47)と、488床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3667床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。

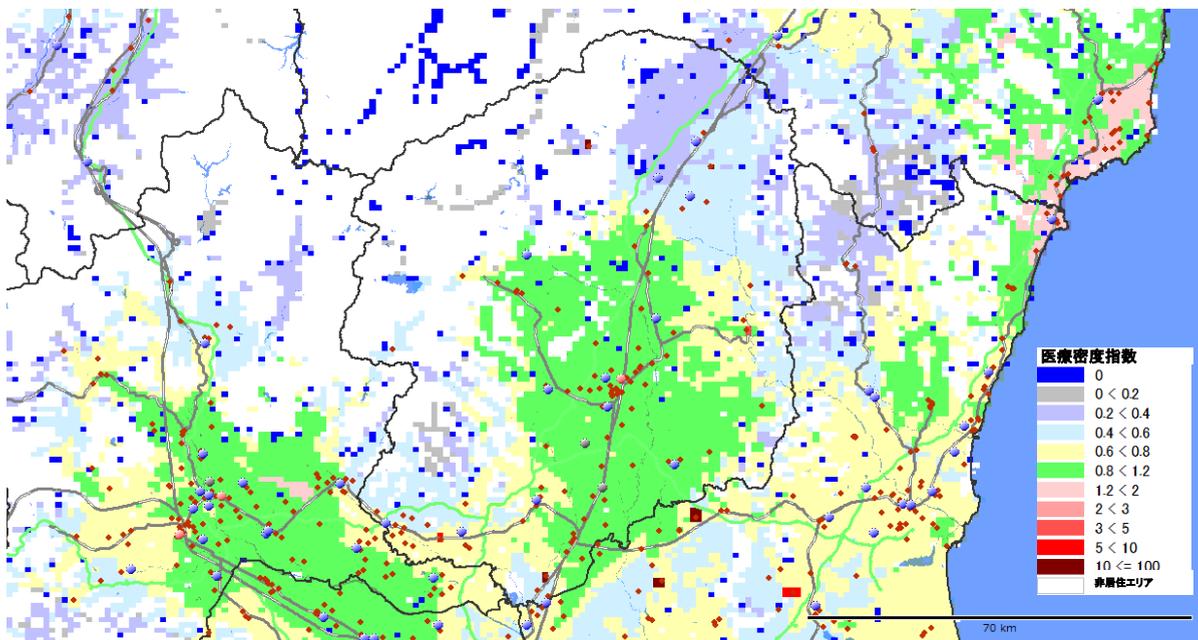


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表9-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-2 慢性期医療密度指数マップ



9. 栃木県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 9-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
栃木県	1,974	19位	6,408	20位	308.0		26%	1,867	1,643	242	322	347	-5%	-12%	33%	8%
県北	386	20%	2,230	35%	173.1	地方都市型	26%	364	320	50	64	72	-6%	-12%	28%	13%
県西	185	9%	1,972	31%	93.8	過疎地域型	29%	169	140	27	33	34	-9%	-17%	22%	3%
県東	146	7%	564	9%	258.2	地方都市型	26%	136	118	19	23	26	-7%	-13%	21%	13%
宇都宮	514	26%	417	7%	1,233.0	地方都市型	24%	503	464	55	80	89	-2%	-8%	45%	11%
県南	478	24%	692	11%	691.3	地方都市型	25%	455	401	55	75	82	-5%	-12%	36%	9%
両毛	265	13%	534	8%	496.5	地方都市型	29%	241	199	37	47	44	-9%	-17%	27%	-6%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資\_図表 9-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
栃木県	0.85	0.85	-41.4%	-52.1%
県北	0.75	0.79	-47.8%	-65.8%
県西	0.81	1.06	-37.3%	-40.9%
県東	0.88	0.55	-45.8%	-63.1%
宇都宮	0.84	0.91	-60.2%	-78.2%
県南	0.64	0.75	-50.4%	-63.9%
両毛	0.99	1.10	-33.6%	-26.1%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資\_図表 9-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
栃木県	289	43	0.900	228	43
県北	281	41	0.902	235	45
県西	300	45	0.936	225	42
県東	297	45	0.950	231	44
宇都宮	275	39	0.894	204	37
県南	290	43	0.918	236	45
両毛	288	43	0.899	243	47
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 9-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
栃木県	109	1.3%	5.5	47	1,424	1.4%	72	46
県北	21	19%	5.4	47	224	16%	58	39
県西	11	10%	5.9	48	116	8%	63	41
県東	5	5%	3.4	42	102	7%	70	45
宇都宮	31	28%	6.0	48	419	29%	82	51
県南	24	22%	5.0	46	353	25%	74	47
両毛	17	16%	6.4	49	210	15%	79	50
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 9-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
栃木県	1,424	1.4%	72	46	1,300	1.4%	66	46	124	1.5%	6.3	50
県北	224	16%	58	39	204	16%	53	40	20	16%	5.2	48
県西	116	8%	63	41	101	8%	55	40	15	12%	8.1	52
県東	102	7%	70	45	92	7%	63	45	10	8%	6.9	50
宇都宮	419	29%	82	51	379	29%	74	51	40	32%	7.8	52
県南	353	25%	74	47	329	25%	69	48	24	19%	5.0	48
両毛	210	15%	79	50	195	15%	74	50	15	12%	5.7	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

9. 栃木県（2016年版）

資\_図表 9-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
栃木県	21,572	1.4%	1,093	47	1,812	1.6%	92	50	23,384	1.4%	1,185	47
県北	3,815	18%	989	45	316	17%	82	49	4,131	18%	1,071	45
県西	1,880	9%	1,016	46	238	13%	129	54	2,118	9%	1,144	47
県東	1,020	5%	701	39	162	9%	111	52	1,182	5%	812	41
宇都宮	6,495	30%	1,264	51	538	30%	105	52	7,033	30%	1,368	51
県南	5,307	25%	1,110	47	367	20%	77	49	5,674	24%	1,187	48
両毛	3,055	14%	1,152	48	191	11%	72	48	3,246	14%	1,224	48
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 9-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
栃木県	12,197	1.4%	618	46	4,124	1.3%	209	48	5,158	1.5%	261	50
県北	1,919	16%	497	41	796	19%	206	47	1,094	21%	284	51
県西	958	8%	518	42	462	11%	250	50	456	9%	246	49
県東	598	5%	411	37	181	4%	124	44	240	5%	165	45
宇都宮	3,009	25%	585	45	1,442	35%	281	51	1,982	38%	386	55
県南	3,941	32%	824	55	653	16%	137	44	712	14%	149	45
両毛	1,772	15%	668	48	590	14%	223	48	674	13%	254	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 9-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期				地域包括			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
栃木県	889	1.3%	45	48	625	1.7%	32	49
県北	273	31%	71	53	125	20%	32	50
県西	0	0%	0	38	58	9%	31	49
県東	0	0%	0	38	16	3%	11	45
宇都宮	239	27%	47	48	112	18%	22	47
県南	277	31%	58	50	254	41%	53	54
両毛	100	11%	38	46	60	10%	23	48
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局（関東信越厚生局のみ7月公表分）。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資\_図表 9-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
栃木県	5,886	5,010	344	15,789	7,291	3,756	40.7%	45	8.4%	50
県北	665	609	50	3,189	1,359	736	30.9%	41	6.4%	49
県西	542	443	45	1,338	515	417	46.2%	48	9.7%	50
県東	401	400	0	619	198	181	66.9%	56	0.0%	46
宇都宮	2,550	2,040	149	4,027	1,028	1,293	66.5%	56	10.3%	51
県南	402	402	0	4,887	3,533	641	10.2%	33	0.0%	46
両毛	1,326	1,116	100	1,729	658	488	62.9%	54	17.0%	53
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 9-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
栃木県	39,804	1.4%	2,017	48	17,004	1.7%	862	52
県北	4,896	12%	1,269	41	3,468	20%	899	53
県西	2,016	5%	1,089	39	1,260	7%	681	46
県東	1,068	3%	734	36	492	3%	338	34
宇都宮	10,020	25%	1,950	47	5,052	30%	983	56
県南	16,272	41%	3,403	61	4,356	26%	911	54
両毛	5,532	14%	2,087	49	2,376	14%	896	53
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 9-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
栃木県	4,992	1.5%	253	48	3,219	1.5%	163	50	1,772	1.4%	90	46
県北	694	14%	180	40	411	13%	106	41	283	16%	73	41
県西	323	6%	175	40	188	6%	101	40	136	8%	73	41
県東	221	4%	152	37	89	3%	61	34	132	7%	91	46
宇都宮	1,126	23%	219	45	613	19%	119	43	513	29%	100	49
県南	2,012	40%	421	66	1,551	48%	324	74	460	26%	96	48
両毛	616	12%	232	46	367	11%	139	46	249	14%	94	47
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

9. 栃木県 (2016年版)

資\_図表 9-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
栃木県	221	1.4%	11.2	48	173	1.4%	8.8	48	170	1.6%	8.6	51
県北	20	9%	5.2	39	21	12%	5.4	40	25	15%	6.5	45
県西	10	5%	5.4	40	10	6%	5.4	40	8	5%	4.3	40
県東	6	3%	4.1	38	10	6%	6.9	43	7	4%	4.8	41
宇都宮	48	22%	9.3	46	34	20%	6.6	43	33	19%	6.4	45
県南	113	51%	23.6	67	78	45%	16.3	64	74	44%	15.5	69
両毛	24	11%	9.1	45	20	12%	7.5	45	23	14%	8.7	51
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 9-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
栃木県	75	1.4%	3.8	48	125	1.3%	6.3	47	97	1.3%	4.9	46
県北	8	11%	2.1	40	15	12%	3.9	39	10	10%	2.6	37
県西	6	8%	3.2	46	12	10%	6.5	47	5	5%	2.7	38
県東	4	5%	2.7	43	4	3%	2.7	35	4	4%	2.7	38
宇都宮	19	25%	3.7	48	31	25%	6.0	46	26	27%	5.1	47
県南	28	37%	5.9	58	43	34%	9.0	55	40	41%	8.4	59
両毛	10	13%	3.8	48	20	16%	7.5	50	12	12%	4.5	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 9-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
栃木県	89	1.1%	4.5	44	329	1.6%	16.7	51	202	1.3%	10.2	46
県北	17	19%	4.4	44	47	14%	12.2	45	21	10%	5.4	35
県西	1	1%	0.5	33	16	5%	8.6	40	11	5%	5.9	36
県東	1	1%	0.7	33	13	4%	8.9	40	5	2%	3.4	31
宇都宮	24	27%	4.7	45	78	24%	15.2	49	66	33%	12.8	52
県南	31	35%	6.5	50	135	41%	28.2	67	78	39%	16.3	59
両毛	15	17%	5.7	47	40	12%	15.1	49	21	10%	7.9	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 9-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
栃木県	79	1.4%	4.0	48	86	1.3%	4.4	47	60	1.1%	3.0	46
県北	9	11%	2.3	39	12	14%	3.1	42	4	7%	1.0	39
県西	4	5%	2.2	39	3	3%	1.6	36	2	3%	1.1	40
県東	6	8%	4.1	48	2	2%	1.4	35	2	3%	1.4	41
宇都宮	15	19%	2.9	42	20	23%	3.9	45	12	20%	2.3	44
県南	35	44%	7.3	64	46	53%	9.6	69	35	58%	7.3	61
両毛	10	13%	3.8	46	3	3%	1.1	34	5	8%	1.9	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 9-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
栃木県	106	1.6%	5.4	51	19	1.2%	1.0	47	46	1.4%	2.3	48
県北	15	14%	3.9	46	3	16%	0.8	45	8	17%	2.1	47
県西	7	7%	3.8	45	1	5%	0.5	43	2	4%	1.1	41
県東	3	3%	2.1	40	0	0%	0	37	1	2%	0.7	39
宇都宮	22	21%	4.3	47	7	37%	1.4	52	9	20%	1.8	45
県南	46	43%	9.6	64	7	37%	1.5	53	25	54%	5.2	65
両毛	13	12%	4.9	49	1	5%	0.4	41	1	2%	0.4	37
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 9-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
栃木県	22	1.1%	1.1	46	31	1.3%	1.6	48
県北	2	9%	0.5	41	5	16%	1.3	46
県西	3	14%	1.6	50	0	0%	0	36
県東	0	0%	0	37	0	0%	0	36
宇都宮	6	27%	1.2	47	10	32%	1.9	51
県南	9	41%	1.9	53	12	39%	2.5	55
両毛	2	9%	0.8	43	4	13%	1.5	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

9. 栃木県（2016年版）

資\_図表 9-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
栃木県	15,626	1.4%	792	47	12,356	1.4%	626	46	3,270	1.7%	166	51
県北	2,534	16%	657	43	2,045	17%	530	42	489	15%	127	46
県西	1,276	8%	689	44	916	7%	495	41	360	11%	195	55
県東	790	5%	542	39	509	4%	349	35	281	9%	193	55
宇都宮	4,283	27%	833	49	3,424	28%	666	48	859	26%	167	52
県南	4,442	28%	929	52	3,717	30%	777	53	725	22%	152	49
両毛	2,300	15%	868	50	1,746	14%	658	48	555	17%	209	57
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 9-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
栃木県	1,376	1.2%	70	45	3,826	1.3%	194	47
県北	316	23%	82	48	547	14%	142	41
県西	107	8%	58	43	289	8%	156	43
県東	35	3%	24	36	212	6%	146	42
宇都宮	383	28%	74	46	1,154	30%	225	50
県南	386	28%	81	47	1,120	29%	234	51
両毛	150	11%	57	43	504	13%	190	46
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 9-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
栃木県	155	1.1%	0.6	44	3	0.3%	0.0	41	93	1.0%	0.4	39
県北	32	21%	0.6	45	0	0%	0	39	16	17%	0.3	36
県西	5	3%	0.2	35	0	0%	0	39	7	8%	0.3	32
県東	8	5%	0.4	40	0	0%	0	39	5	5%	0.3	33
宇都宮	35	23%	0.6	44	1	33%	0.0	42	26	28%	0.5	44
県南	53	34%	1.0	52	2	67%	0.0	45	24	26%	0.4	42
両毛	22	14%	0.6	44	0	0%	0	39	15	16%	0.4	41
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資\_図表 9-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
栃木県	22,164	1.4%	91	45	14,530	1.5%	60	50	7,634	1.2%	31	45
県北	4,407	20%	88	44	2,914	20%	59	49	1,493	20%	30	44
県西	2,447	11%	90	44	1,796	12%	66	55	651	9%	24	40
県東	1,479	7%	79	38	1,163	8%	62	52	316	4%	17	35
宇都宮	5,240	24%	95	47	3,149	22%	57	48	2,091	27%	38	49
県南	5,110	23%	93	46	3,436	24%	63	52	1,674	22%	30	44
両毛	3,481	16%	95	48	2,072	14%	57	48	1,409	18%	39	49
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 9-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
栃木県	5,667	1.6%	23	52	8,355	1.5%	34	51	508	0.8%	2.1	45
県北	1,145	20%	23	52	1,629	19%	33	49	140	28%	2.8	47
県西	774	14%	28	61	972	12%	36	52	50	10%	1.8	45
県東	520	9%	28	60	643	8%	34	51	0	0%	0	40
宇都宮	1,038	18%	19	44	1,793	21%	32	49	318	63%	5.8	54
県南	1,394	25%	25	56	2,042	24%	37	53	0	0%	0	40
両毛	796	14%	22	50	1,276	15%	35	51	0	0%	0	40
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 9-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
栃木県	1,048	0.5%	4.3	41	683	3.0%	2.8	57	2,073	1.1%	8.5	45
県北	196	19%	3.9	41	71	10%	1.4	50	492	24%	9.9	47
県西	100	10%	3.7	40	40	6%	1.5	50	213	10%	7.8	43
県東	0	0%	0	37	0	0%	0	43	162	8%	8.7	45
宇都宮	255	24%	4.6	41	380	56%	6.9	77	351	17%	6.4	41
県南	225	21%	4.1	41	100	15%	1.8	52	513	25%	9.3	46
両毛	272	26%	7.4	44	92	13%	2.5	55	342	16%	9.3	46
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

9. 栃木県（2016年版）

資\_図表 9-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
栃木県	3,830	1.8%	15.8	54	225	1.7%	0.9	51	3,605	1.8%	14.9	54
県北	734	19%	14.7	53	0	0%	0	45	734	20%	14.7	54
県西	298	8%	10.9	47	9	4%	0.3	47	289	8%	10.6	48
県東	154	4%	8.3	43	0	0%	0	45	154	4%	8.3	44
宇都宮	1,105	29%	20.0	61	0	0%	0	45	1,105	31%	20.0	63
県南	836	22%	15.2	53	77	34%	1.4	54	759	21%	13.8	53
両毛	703	18%	19.2	59	139	62%	3.8	69	564	16%	15.4	55
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 9-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
栃木県	2,103	1.3%	8.7	45	1,651	1.4%	6.8	48	452	1.1%	1.9	42
県北	434	21%	8.7	46	362	22%	7.3	50	72	16%	1.4	37
県西	195	9%	7.2	39	174	11%	6.4	46	21	5%	0.8	29
県東	107	5%	5.8	33	88	5%	4.7	39	19	4%	1.0	32
宇都宮	577	27%	10.4	53	446	27%	8.1	54	131	29%	2.4	48
県南	481	23%	8.8	46	351	21%	6.4	46	130	29%	2.4	48
両毛	309	15%	8.5	45	230	14%	6.3	46	80	18%	2.2	45
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 9-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
栃木県	21,152	1.4%	87	48	19,012	1.5%	78	52	2,140	1.0%	8.8	41
県北	4,284	20%	86	47	3,965	21%	80	53	319	15%	6.4	37
県西	2,351	11%	86	47	2,170	11%	80	53	181	8%	6.6	37
県東	1,432	7%	77	39	1,347	7%	72	46	86	4%	4.6	34
宇都宮	4,402	21%	80	42	3,717	20%	67	42	684	32%	12.4	48
県南	5,140	24%	94	53	4,659	25%	85	57	481	22%	8.8	41
両毛	3,543	17%	97	55	3,154	17%	86	58	389	18%	10.6	45
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 9-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
栃木県	8,070	0.8%	33	40	3,958	1.0%	16	42	14,386	1.0%	59	40
県北	1,111	14%	22	36	613	15%	12	38	2,056	14%	41	34
県西	189	2%	7	31	179	5%	7	33	1,362	9%	50	37
県東	307	4%	16	34	150	4%	8	34	626	4%	34	32
宇都宮	1,702	21%	31	39	1,136	29%	21	46	4,324	30%	78	46
県南	2,828	35%	51	46	1,221	31%	22	47	3,227	22%	59	40
両毛	1,933	24%	53	46	659	17%	18	43	2,791	19%	76	45
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 9-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
栃木県		2,016,631	1,973,738	-2%	1,867,192	-7%	10%	5%	16%
県北	地方都市型	393,210	385,828	-2%	364,184	-7%	9%	5%	15%
県西	過疎地域型	198,439	185,098	-7%	168,575	-15%	5%	1%	6%
県東	地方都市型	153,253	145,599	-5%	136,092	-11%	5%	4%	9%
宇都宮	地方都市型	502,396	513,975	2%	503,047	0%	17%	9%	28%
県南	地方都市型	485,651	478,143	-2%	454,501	-6%	11%	6%	18%
両毛	地方都市型	283,682	265,095	-7%	240,793	-15%	6%	0%	7%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資\_図表 9-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
栃木県	118	5.9	47	109	5.5	47	-9	-8%	100
県北	22	5.6	46	21	5.4	47	-1	-5%	20
県西	12	6.0	47	11	5.9	48	-1	-8%	10
県東	5	3.3	40	5	3.4	42	0	0%	5
宇都宮	34	6.8	49	31	6.0	48	-3	-9%	28
県南	27	5.6	46	24	5.0	46	-3	-11%	21
両毛	18	6.3	48	17	6.4	49	-1	-6%	16
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

9. 栃木県（2016年版）

資\_図表 9-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
栃木県	1,358	67	46	1,424	72	46	66	5%	1,497
県北	222	56	40	224	58	39	2	1%	226
県西	107	54	39	116	63	41	9	8%	126
県東	93	61	42	102	70	45	9	10%	112
宇都宮	414	82	53	419	82	51	5	1%	425
県南	324	67	45	353	74	47	29	9%	385
両毛	198	70	47	210	79	50	12	6%	223
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 9-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
栃木県	4,030	200	49	4,421	224	48	391	10%	4,851
県北	505	128	40	576	149	40	71	14%	654
県西	246	124	40	266	144	40	20	8%	288
県東	169	110	38	177	122	37	8	5%	186
宇都宮	940	187	47	986	192	45	46	5%	1,037
県南	1,735	357	67	1,908	399	66	173	10%	2,098
両毛	435	153	43	508	192	45	73	17%	588
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 9-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
栃木県	25,855	128	48	23,384	118	47	-2,471	-10%	20,667
県北	4,614	117	46	4,131	107	45	-483	-10%	3,600
県西	2,510	126	47	2,118	114	47	-392	-16%	1,687
県東	1,264	82	39	1,182	81	41	-82	-6%	1,092
宇都宮	7,718	154	52	7,033	137	51	-685	-9%	6,280
県南	6,163	127	47	5,674	119	48	-489	-8%	5,136
両毛	3,586	126	47	3,246	122	48	-340	-9%	2,872
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 9-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
栃木県	15,549	77	48	13,931	71	47	-1,618	-10%	12,152	65
県北	2,548	65	43	2,219	58	42	-329	-13%	1,857	51
県西	1,264	64	43	1,192	64	45	-72	-6%	1,113	66
県東	812	53	39	744	51	40	-68	-8%	669	49
宇都宮	4,009	80	49	3,525	69	46	-484	-12%	2,993	59
県南	4,673	96	54	4,288	90	54	-385	-8%	3,865	85
両毛	2,243	79	48	1,963	74	48	-280	-12%	1,655	69
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 9-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
栃木県	4,690	26	46	4,202	17	47	-488	-10%	3,667	11
県北	946	24	46	812	16	46	-134	-14%	665	10
県西	686	31	49	466	17	47	-220	-32%	224	7
県東	197	12	39	197	11	41	0	0%	197	8
宇都宮	1,548	42	55	1,464	26	55	-84	-5%	1,372	17
県南	698	17	41	673	12	43	-25	-4%	646	9
両毛	615	21	44	590	16	46	-25	-4%	563	12
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

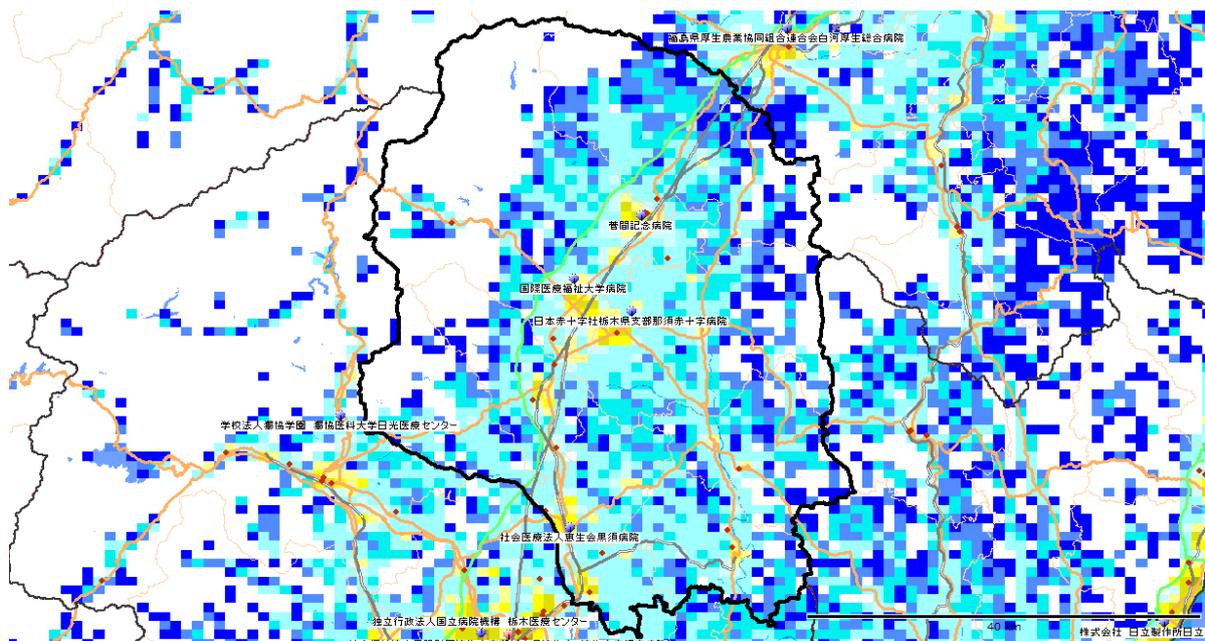
資\_図表 9-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
栃木県	297	43	0.918	108	44	0.866	168	45	0.961
県北	290	41	0.905	112	45	0.905	158	39	0.916
県西	309	46	0.936	119	47	0.931	170	46	0.950
県東	286	40	0.902	107	43	0.874	159	40	0.931
宇都宮	302	44	0.939	107	43	0.865	173	48	0.995
県南	298	43	0.915	102	42	0.815	174	48	0.991
両毛	298	43	0.903	108	44	0.848	169	45	0.947
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 9-1. けんほく 県北医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [大田原市](#)      [矢板市](#)      [那須塩原市](#)      [さくら市](#)  
[那須烏山市](#)      [塩谷町](#)      [高根沢町](#)      [那須町](#)  
[那珂川町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (県北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県北(大田原市)は、総人口約386千人(2015年推計)、面積2230km<sup>2</sup>、人口密度は173人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県北の総人口は2025年に364千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に320千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の50千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には72千人へと増加する(2025年比+13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県北の一人当たり医療費(国保)は281千円(偏差値41)、介護給付費は235千円(偏差値45)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県北の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.79で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。県北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国際医療福祉大学病院(Ⅲ群)、那須赤十字病院(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4407人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2914床(偏差値49)、高齢者住宅等が1493床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3965人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム41、軽費ホーム50、グループホーム47、サ高住53である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、319人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-66%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

県北医療圏の総人口は、2005年393210人が、2015年に385828人と2%減少し、2025年の人口が364184人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

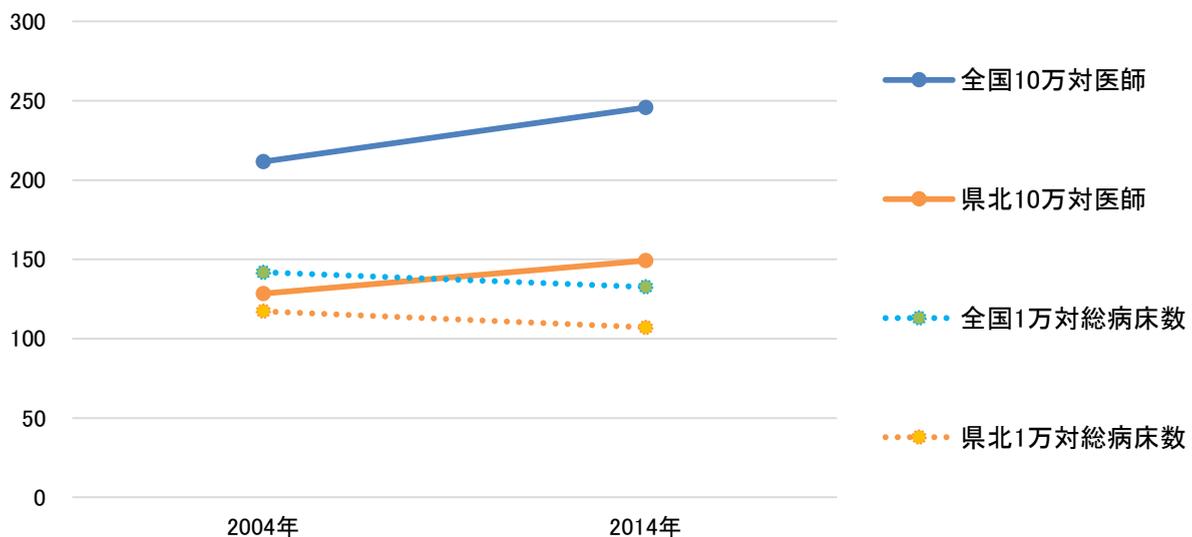
2004年の病院数が22(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に21(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が222(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に224(人口10万人当たり58診療所(全国平均79)偏差値39)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が4614床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に4131床(人口1万人当たり107(全国平均133)偏差値45)と、483床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

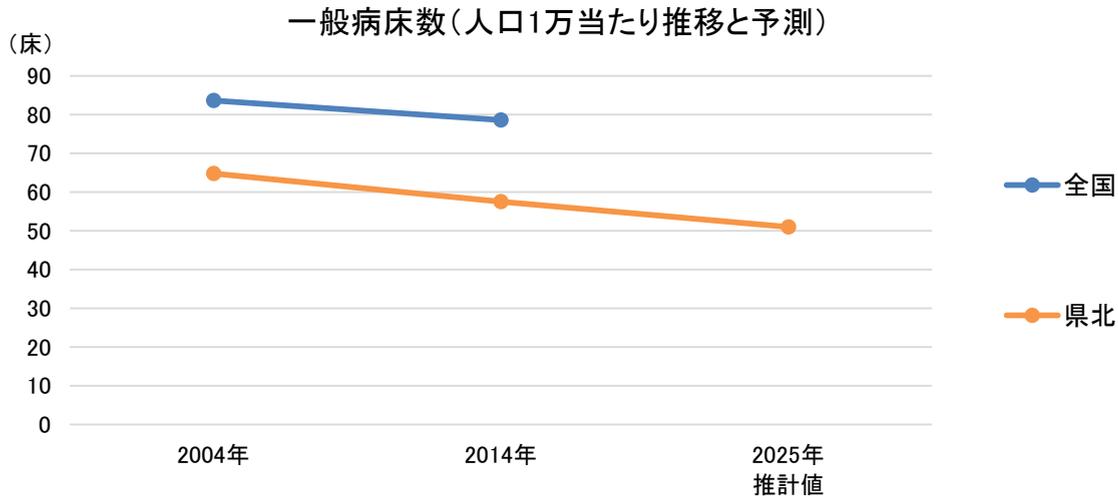
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が505人(人口10万人当たり128人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に576人(人口10万人当たり149人(全国平均246人)偏差値40)と、71人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



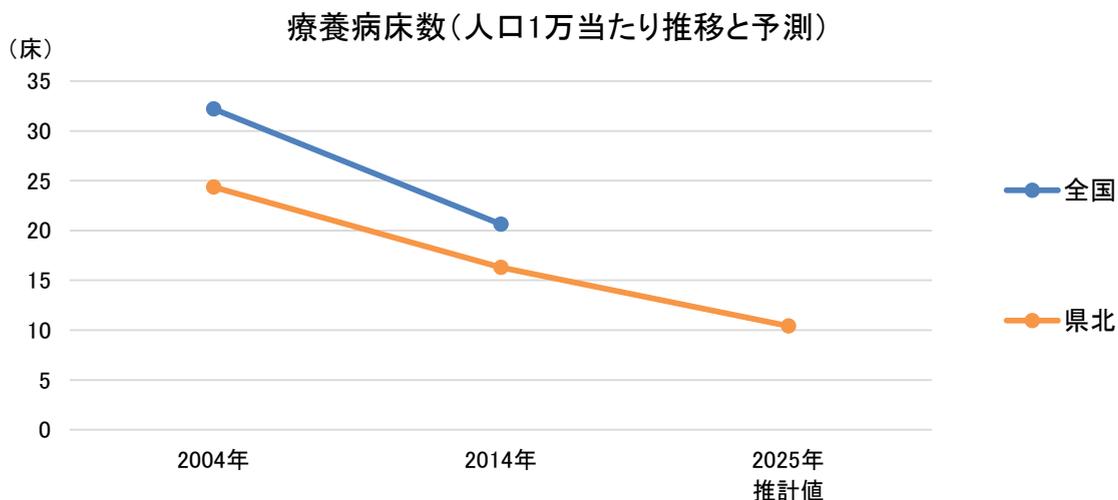
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2548床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に2219床(人口1万人当たり58(全国平均79)偏差値42)と、329床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1857床(2025年の推計人口1万人当たり51)になることが予想される。



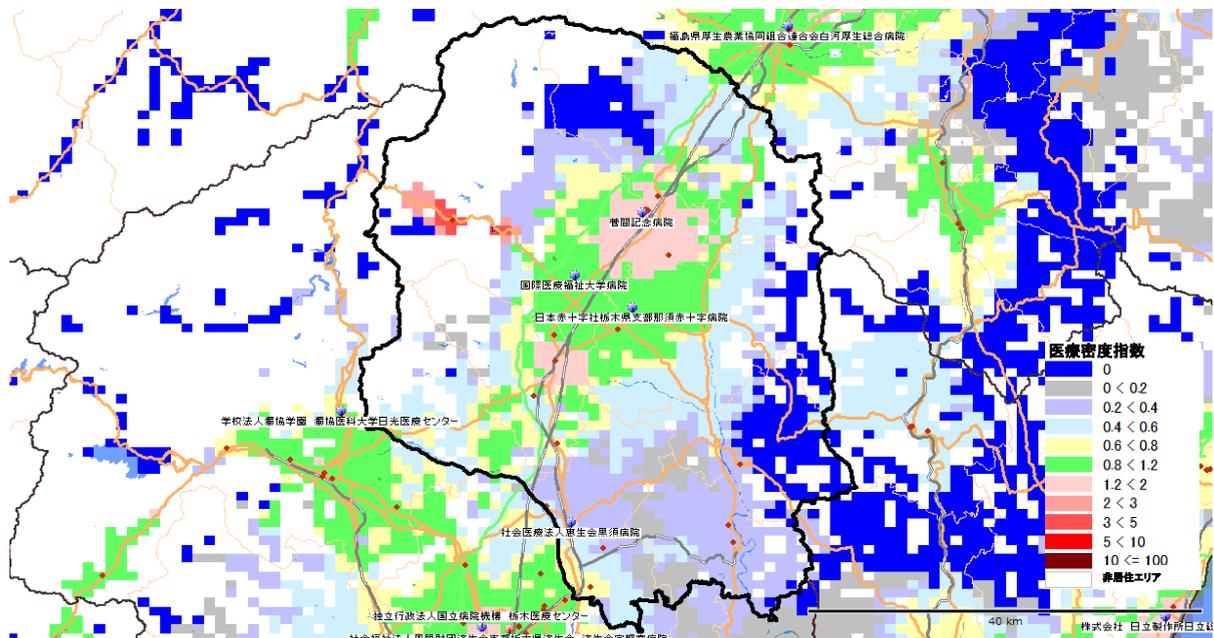
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が946床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に812床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、134床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には665床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

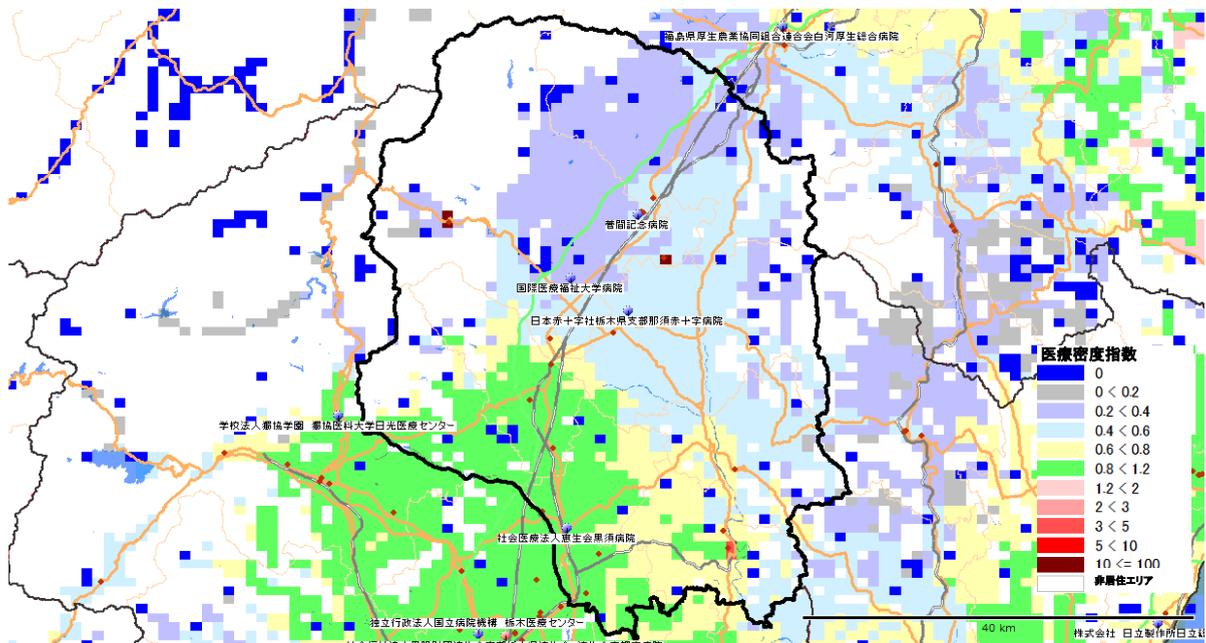


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表9-1-1 急性期医療密度指数マップ



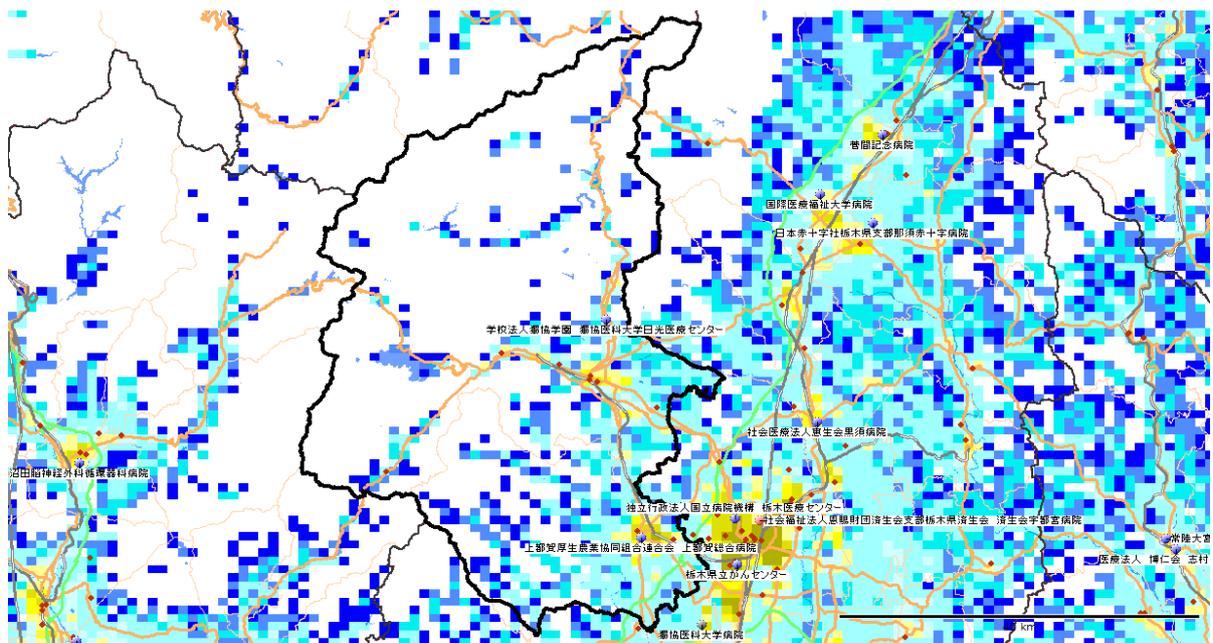
図表9-1-2 慢性期医療密度指数マップ



# 9-2. けんせい 県西医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [鹿沼市](#) [日光市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （県西医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 県西（鹿沼市）は、総人口約185千人（2015年推計）、面積1972km<sup>2</sup>、人口密度は94人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 県西の総人口は2025年に169千人へと減少し（2015年比-9%）、2040年に140千人へと減少する（2025年比-17%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて33千人へと増加し（2015年比+22%）、2040年には34千人へと増加する（2025年比+3%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 県西の一人当たり医療費（国保）は300千円（偏差値45）、介護給付費は225千円（偏差値42）であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 県西の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.06で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40（病院医師数40、診療所医師数41）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。県西には、年間全身麻酔件数が500例以上の獨協医科大学日光医療センター（Ⅲ群）、上都賀総合病院（Ⅲ群）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 県西の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、2447人（75歳以上1000人当たりの偏差値44）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1796床（偏差値55）、高齢者住宅等が651床（偏差値40）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、2170人（75歳以上1000人当たりの偏差値53）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム40、軽費ホーム50、グループホーム43、サ高住47である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員（在宅）の合計は、181人（75歳以上1000人当たりの偏差値37）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-41%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

県西医療圏の総人口は、2005年198439人が、2015年に185098人と7%減少し、2025年の人口が168575人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

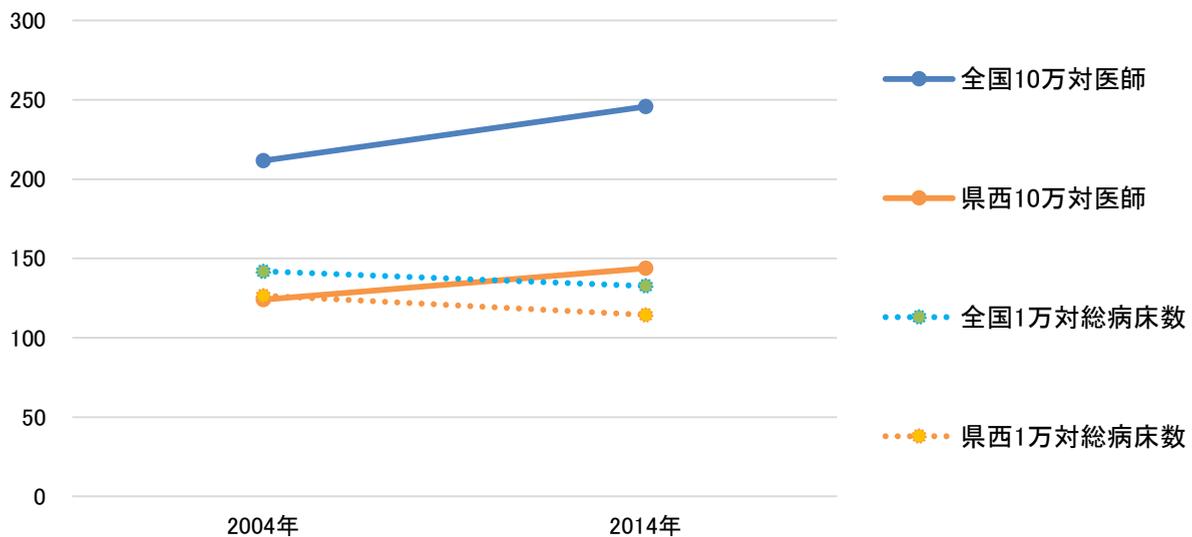
2004年の病院数が12(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に11(人口10万人当たり5.9病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が107(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に116(人口10万人当たり63診療所(全国平均79)偏差値41)と、9診療所が増加した。

2004年の総病床数が2510床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に2118床(人口1万人当たり114(全国平均133)偏差値47)と、392床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が246人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に266人(人口10万人当たり144人(全国平均246人)偏差値40)と、20人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

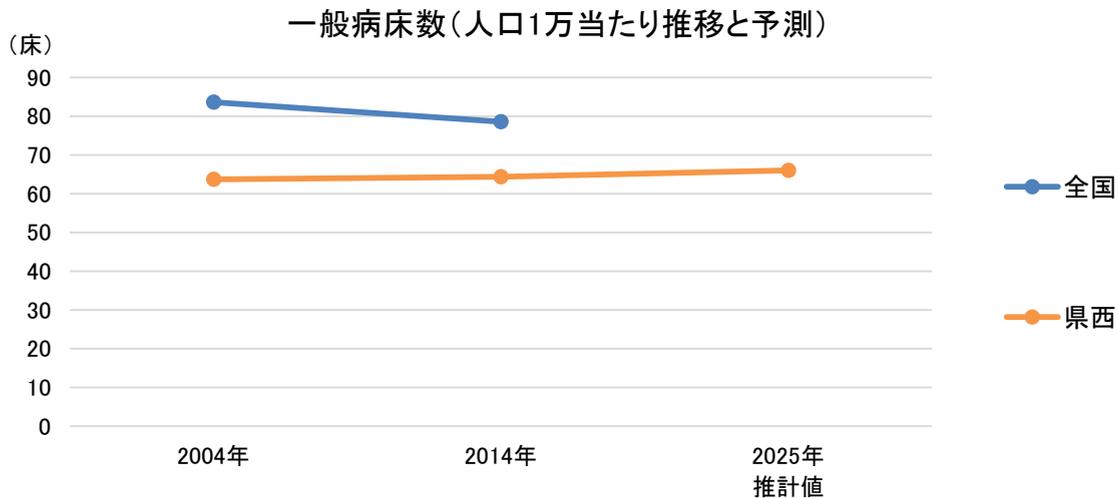
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



## 9. 栃木県（2016年版）

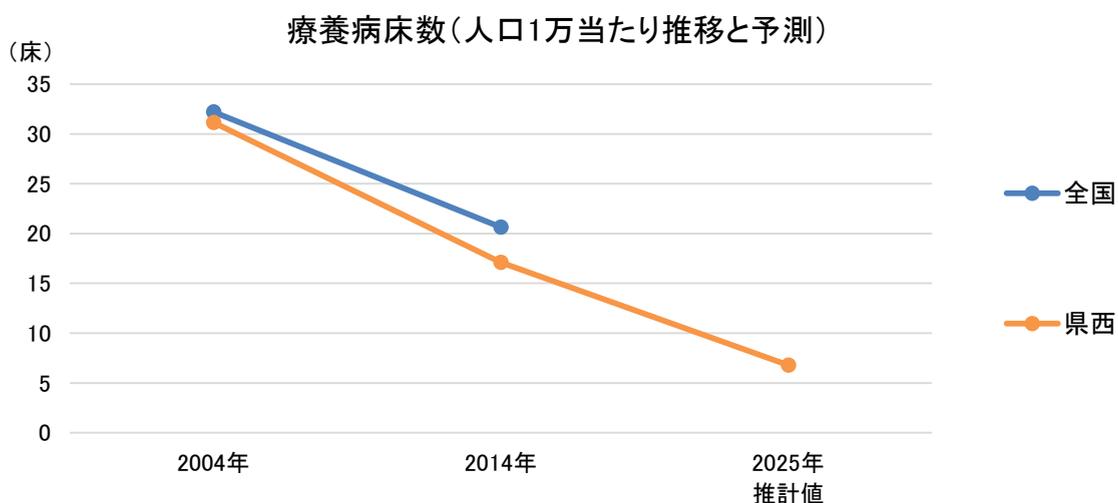
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1264床(人口1万人当たり64(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に1192床(人口1万人当たり64(全国平均79)偏差値45)と、72床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1113床(2025年の推計人口1万人当たり66)になることが予想される。



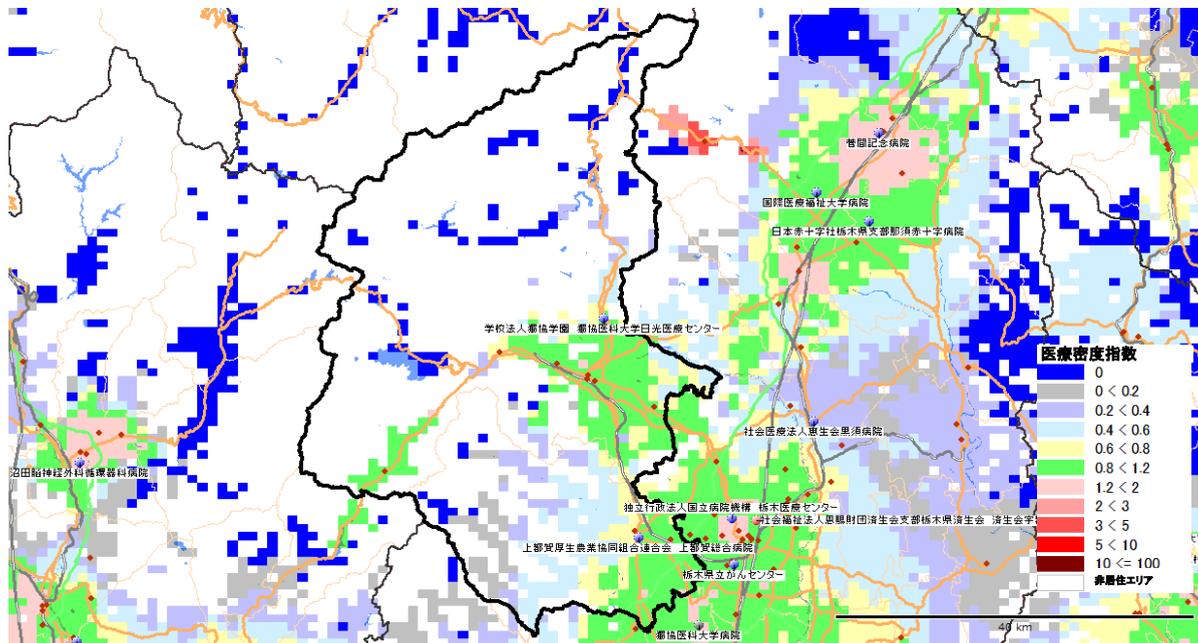
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が686床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に466床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値47)と、220床の減少、率にして32%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には224床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。

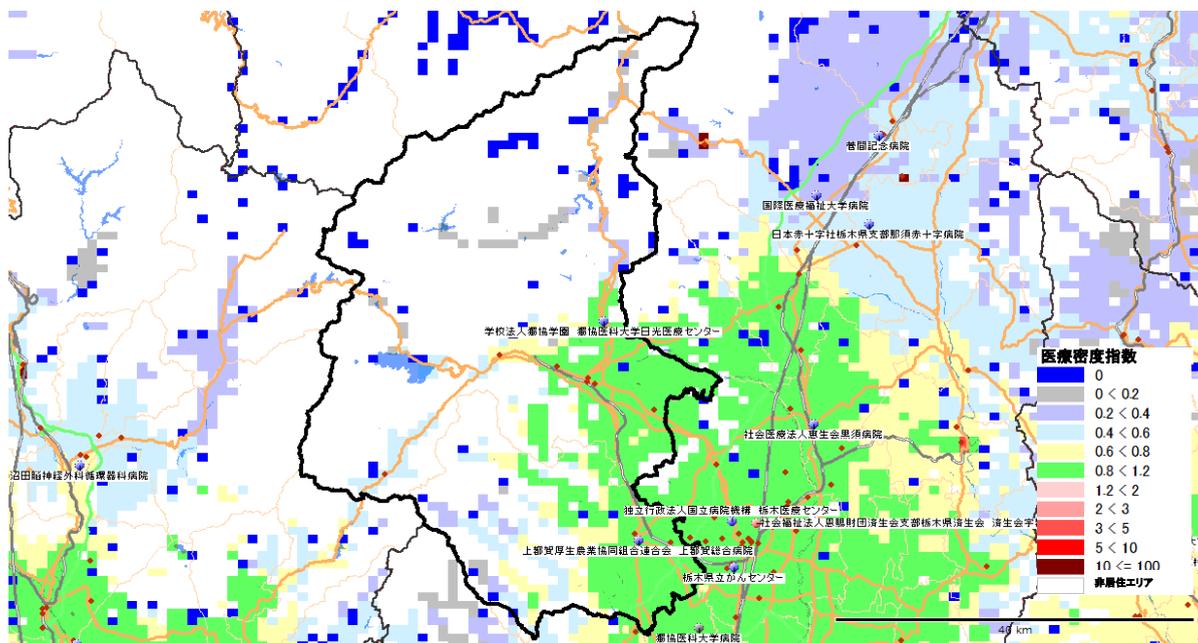


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表9-2-1 急性期医療密度指数マップ



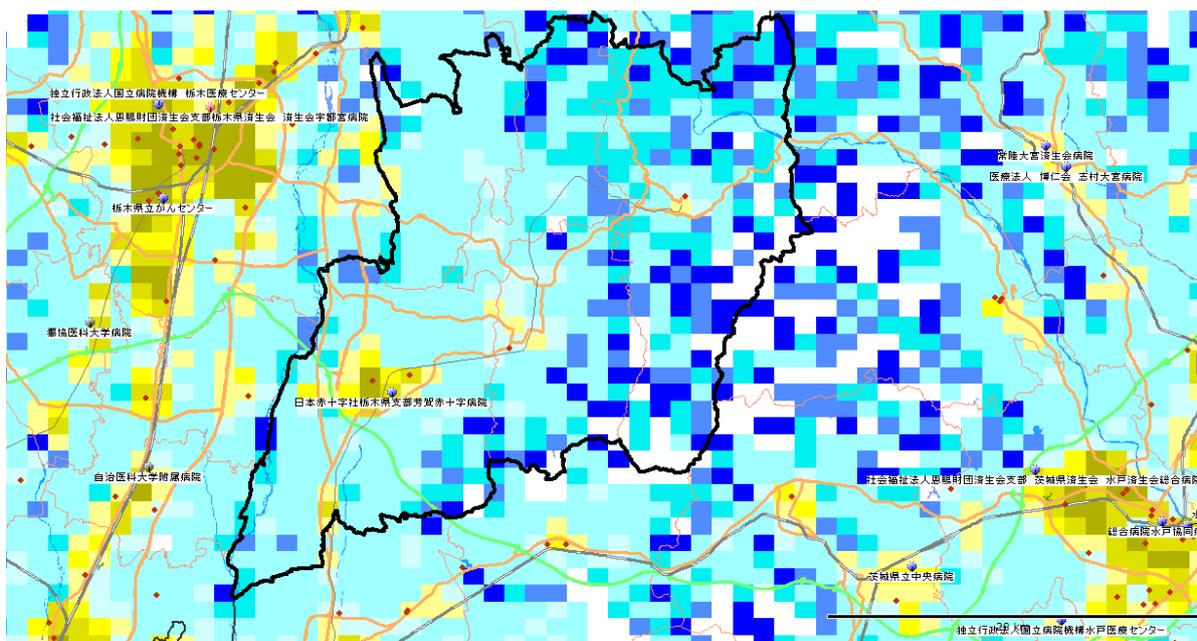
図表9-2-2 慢性期医療密度指数マップ



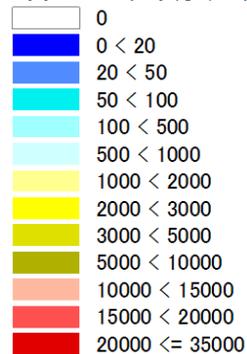
# 9-3. けんとう 県東医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [真岡市](#) [益子町](#) [茂木町](#) [市貝町](#)  
[芳賀町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (県東医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県東(真岡市)は、総人口約146千人(2015年推計)、面積564km<sup>2</sup>、人口密度は258人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県東の総人口は2025年に136千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に118千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の19千人が、2025年にかけて23千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には26千人へと増加する(2025年比+13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県東の一人当たり医療費(国保)は297千円(偏差値45)、介護給付費は231千円(偏差値44)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県東の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.88、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.55で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が37(病院医師数34、診療所医師数46)と、総医師数は少ないが、病院医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。県東には、年間全身麻酔件数が500例以上の芳賀赤十字病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値36と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県東の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1479人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1163床(偏差値52)、高齢者住宅等が316床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1347人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住43である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、86人(75歳以上1000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-63%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

県東医療圏の総人口は、2005年153253人が、2015年に145599人と5%減少し、2025年の人口が136092人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

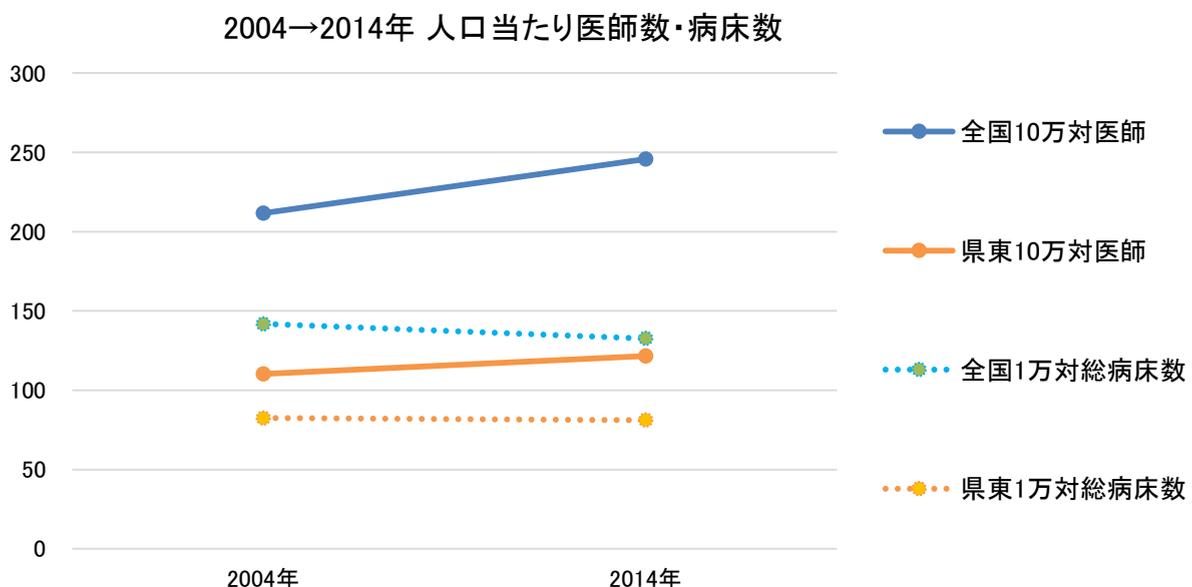
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が5(人口10万人当たり3.3病院(全国平均7.1)偏差値40)であったが、2014年に5(人口10万人当たり3.4病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が93(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に102(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、9診療所が増加した。

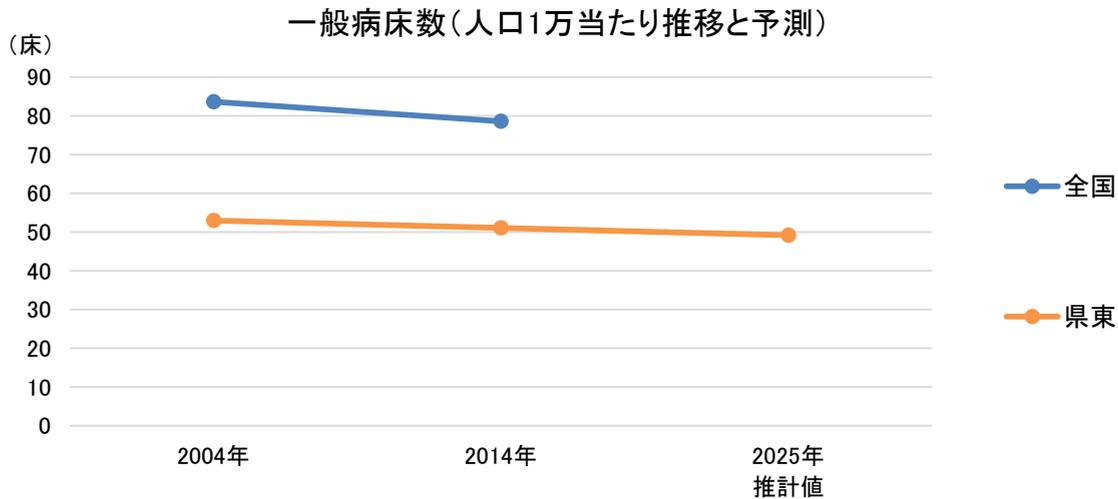
2004年の総病床数が1264床(人口1万人当たり82(全国平均142)偏差値39)であったが、2014年に1182床(人口1万人当たり81(全国平均133)偏差値41)と、82床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が169人(人口10万人当たり110人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2014年に177人(人口10万人当たり122人(全国平均246人)偏差値37)と、8人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



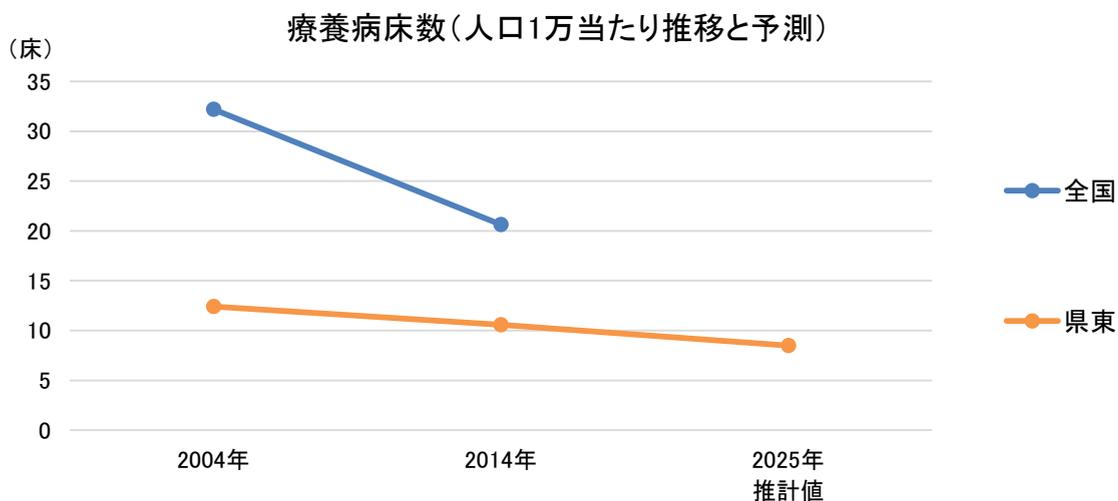
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が812床(人口1万人当たり53(全国平均84)偏差値39)であったが、2014年に744床(人口1万人当たり51(全国平均79)偏差値40)と、68床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には669床(2025年の推計人口1万人当たり49)になることが予想される。



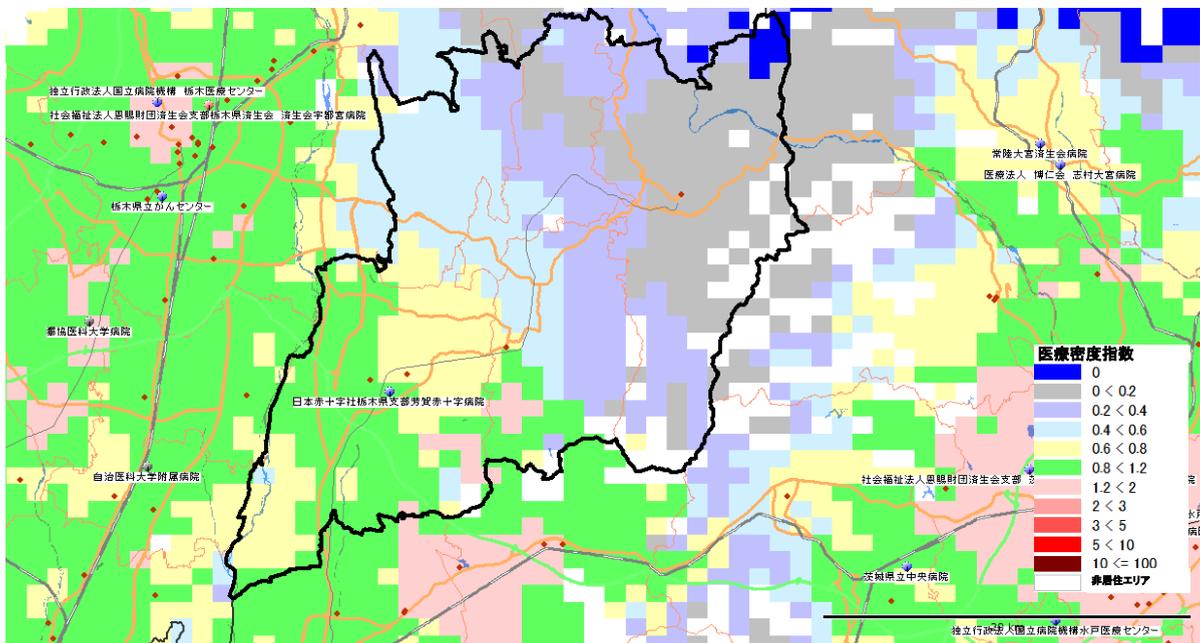
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が197床(75歳以上1000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に197床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値41)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には197床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

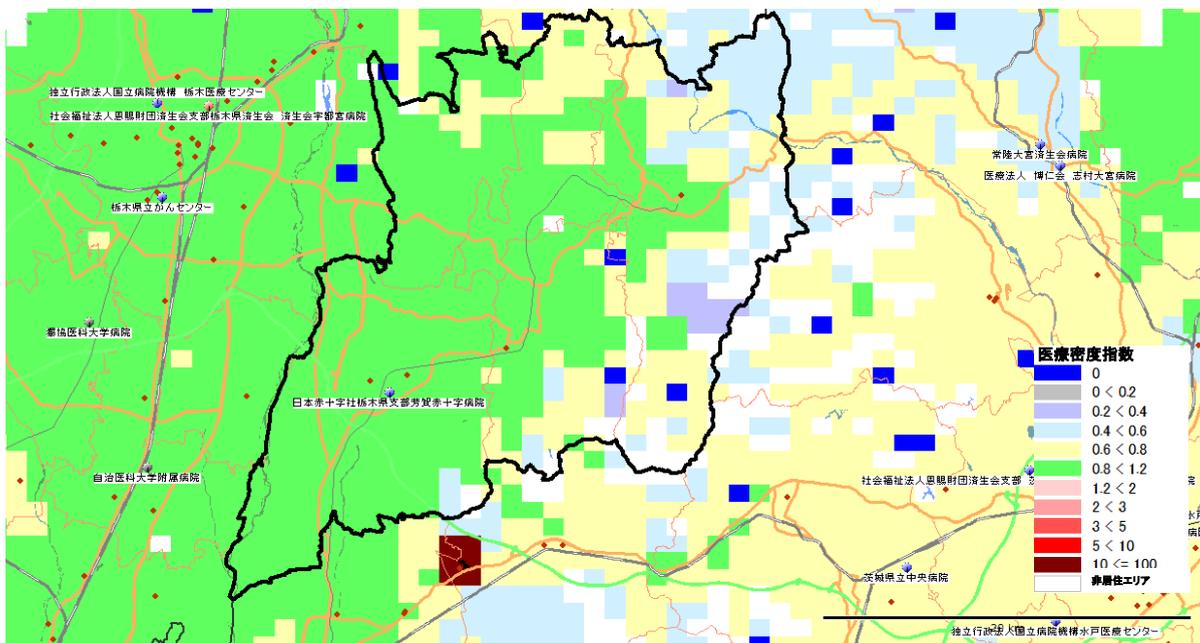


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表9-3-1 急性期医療密度指数マップ



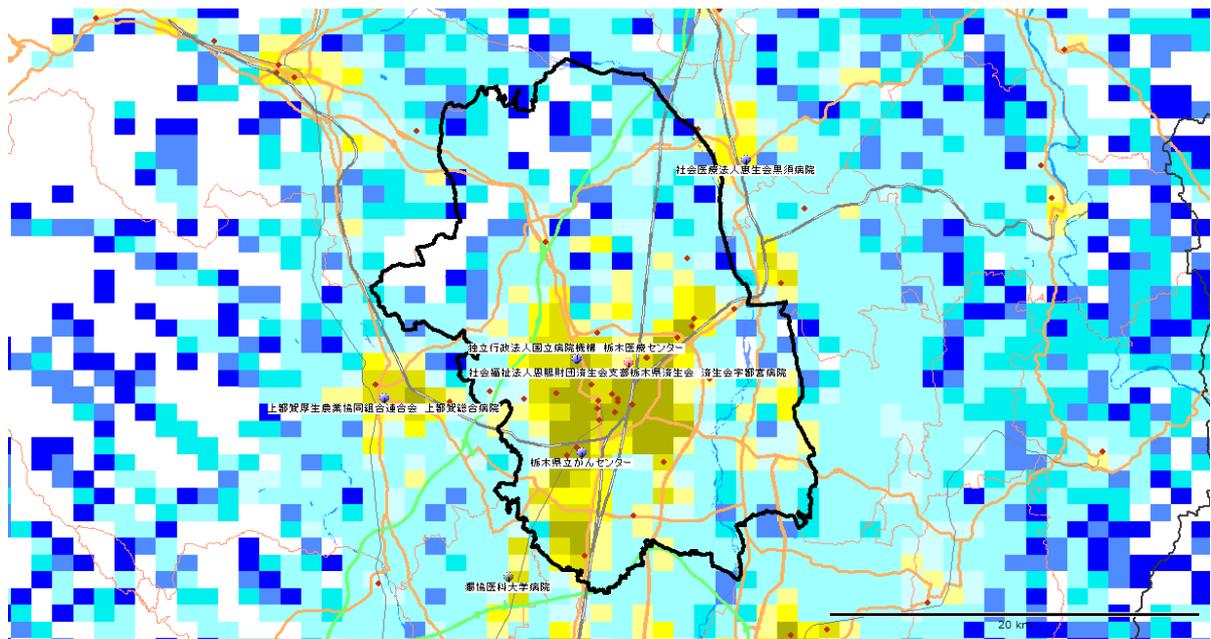
図表9-3-2 慢性期医療密度指数マップ



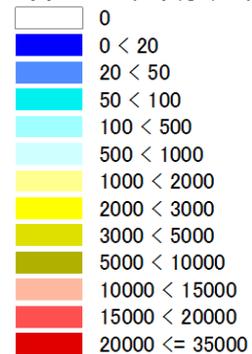
# 9-4. うつのみや 宇都宮医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [宇都宮市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（宇都宮医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

\*人口、面積など： 宇都宮(宇都宮市)は、総人口約514千人(2015年推計)、面積417km<sup>2</sup>、人口密度は1233人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 宇都宮の総人口は2025年に503千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に464千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の55千人が、2025年にかけて80千人へと増加し(2015年比+45%)、2040年には89千人へと増加する(2025年比+11%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 宇都宮の一人当たり医療費(国保)は275千円(偏差値39)、介護給付費は204千円(偏差値37)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 宇都宮の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.91で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数43、診療所医師数49)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。宇都宮には、年間全身麻酔件数が2000例以上の済生会宇都宮病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の国立病院機構栃木医療センター(Ⅲ群)、栃木県立がんセンター(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 宇都宮の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5240人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3149床(偏差値48)、高齢者住宅等が2091床(偏差値49)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3717人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム41、軽費ホーム77、グループホーム41、サ高住61である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、684人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-78%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

宇都宮医療圏の総人口は、2005年502396人が、2015年に513975人と2%増加し、2025年の人口が503047人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

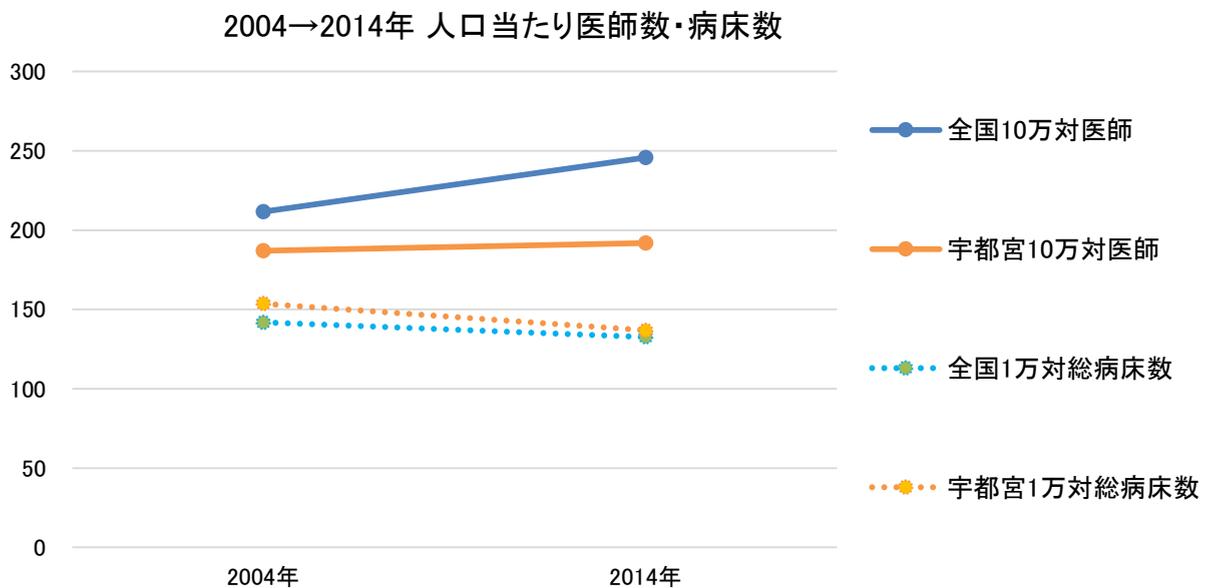
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が34(人口10万人当たり6.8病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に31(人口10万人当たり6病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が414(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に419(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値51)と、5診療所が増加した。

2004年の総病床数が7718床(人口1万人当たり154(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に7033床(人口1万人当たり137(全国平均133)偏差値51)と、685床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

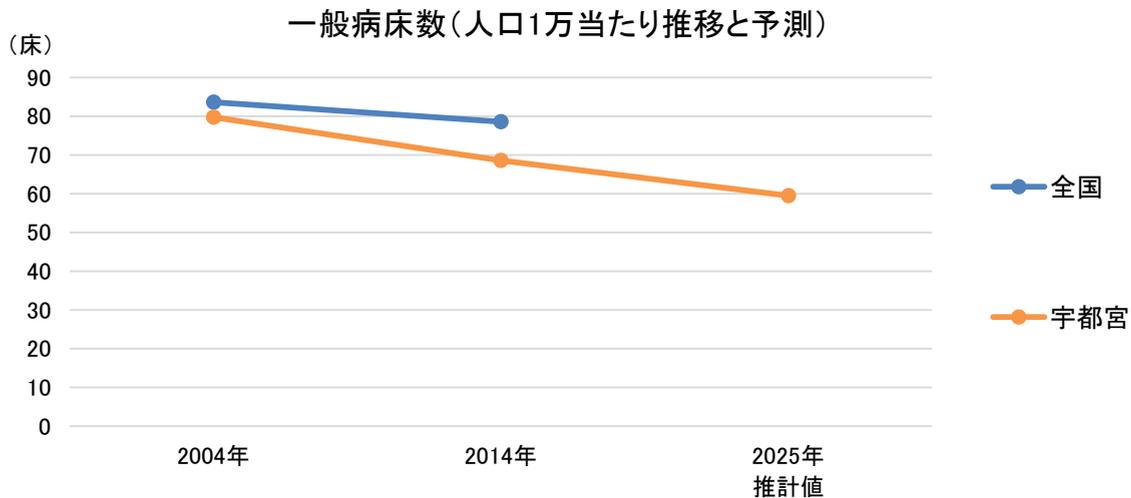
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が940人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に986人(人口10万人当たり192人(全国平均246人)偏差値45)と、46人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 9. 栃木県（2016年版）

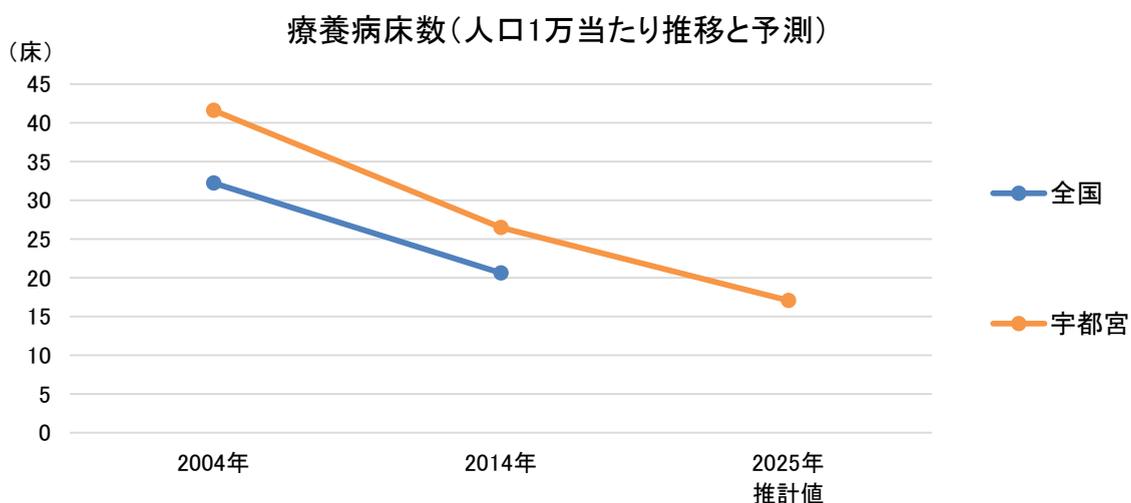
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4009床(人口1万人当たり80(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に3525床(人口1万人当たり69(全国平均79)偏差値46)と、484床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2993床(2025年の推計人口1万人当たり59)になることが予想される。



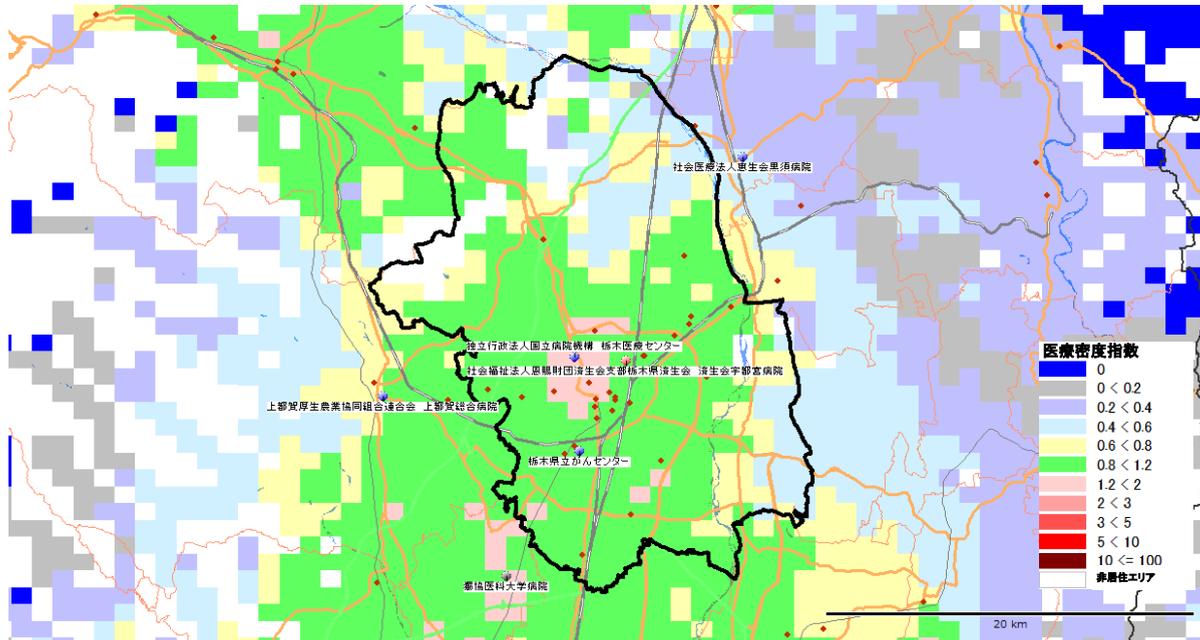
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1548床(75歳以上1000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に1464床(75歳以上1000人当たり26(全国平均21)偏差値55)と、84床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1372床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。

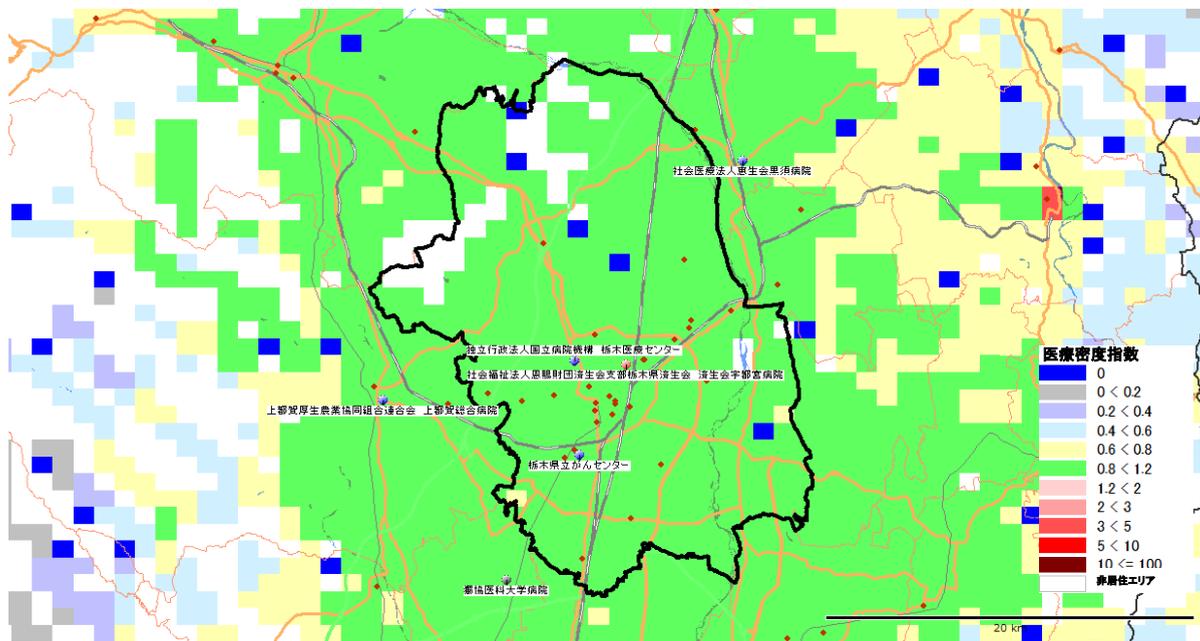


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表9-4-1 急性期医療密度指数マップ



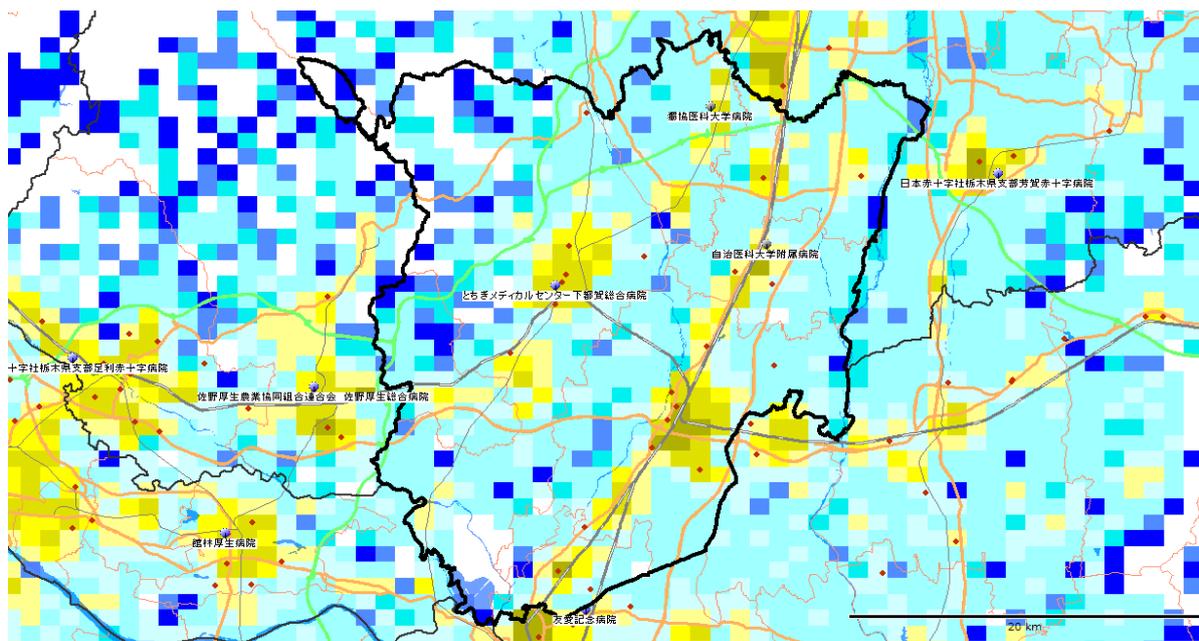
図表9-4-2 慢性期医療密度指数マップ



# 9-5. けんなん 県南医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [栃木市](#) [小山市](#) [下野市](#) [上三川町](#)  
[壬生町](#) [野木町](#) [岩舟町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (県南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県南(栃木市)は、総人口約478千人(2015年推計)、面積692km<sup>2</sup>、人口密度は691人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県南の総人口は2025年に455千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に401千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の55千人が、2025年にかけて75千人へと増加し(2015年比+36%)、2040年には82千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県南の一人当たり医療費(国保)は290千円(偏差値43)、介護給付費は236千円(偏差値45)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県南の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.75で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が66(病院医師数74、診療所医師数48)と、総医師数、特に病院医師数は非常に多いが、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は61と多い。県南には、年間全身麻酔件数が2000例以上の獨協医科大学病院(I群・救命)、自治医科大学附属病院(I群・救命)、500例以上の新小山市市民病院(Ⅲ群)、下都賀総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5110人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3436床(偏差値52)、高齢者住宅等が1674床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4659人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム41、軽費ホーム52、グループホーム46、サ高住53である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、481人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-64%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

県南医療圏の総人口は、2005年485651人が、2015年に478143人と2%減少し、2025年の人口が454501人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

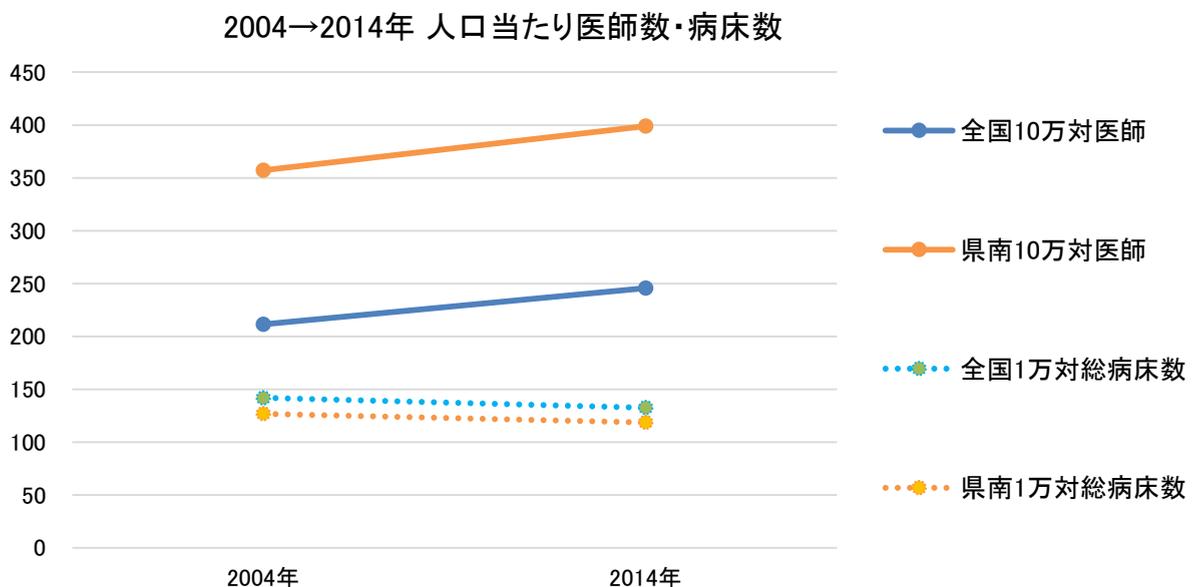
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が27(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に24(人口10万人当たり5病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が324(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に353(人口10万人当たり74診療所(全国平均79)偏差値47)と、29診療所が増加した。

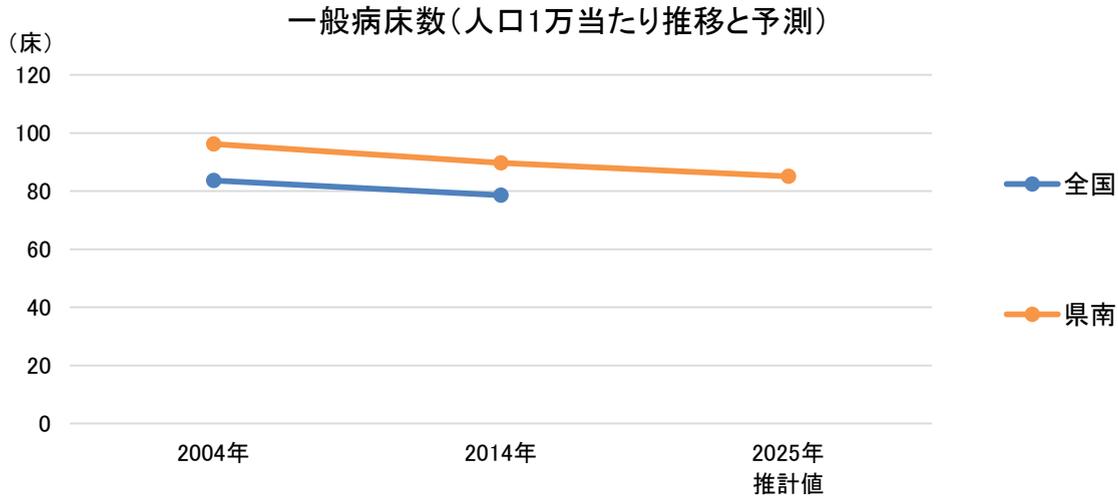
2004年の総病床数が6163床(人口1万人当たり127(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に5674床(人口1万人当たり119(全国平均133)偏差値48)と、489床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1735人(人口10万人当たり357人(全国平均212人)偏差値67)であったが、2014年に1908人(人口10万人当たり399人(全国平均246人)偏差値66)と、173人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



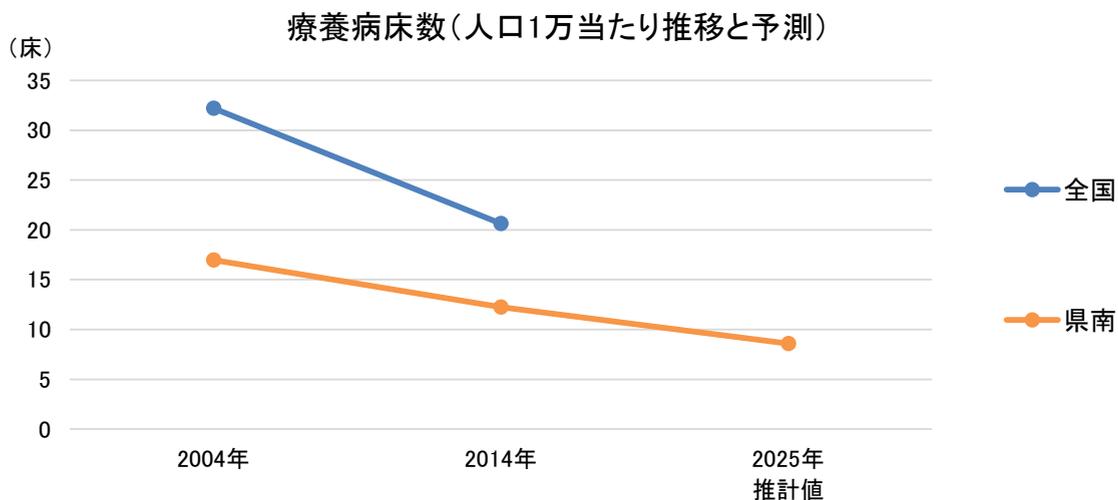
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4673床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に4288床(人口1万人当たり90(全国平均79)偏差値54)と、385床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3865床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



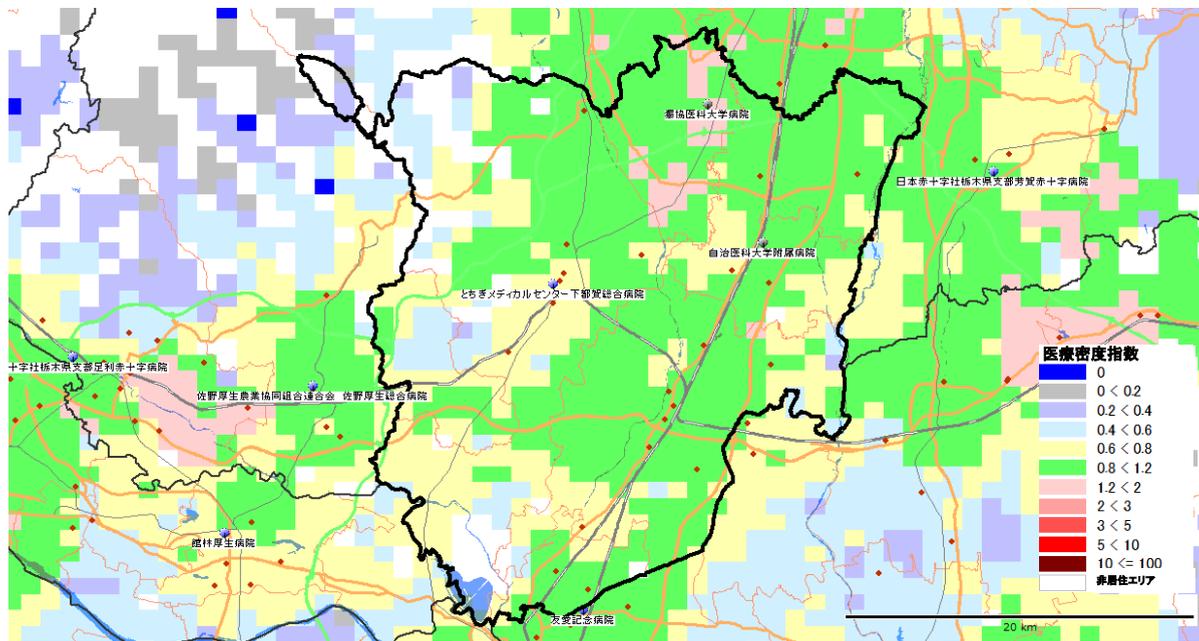
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が698床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に673床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値43)と、25床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には646床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。

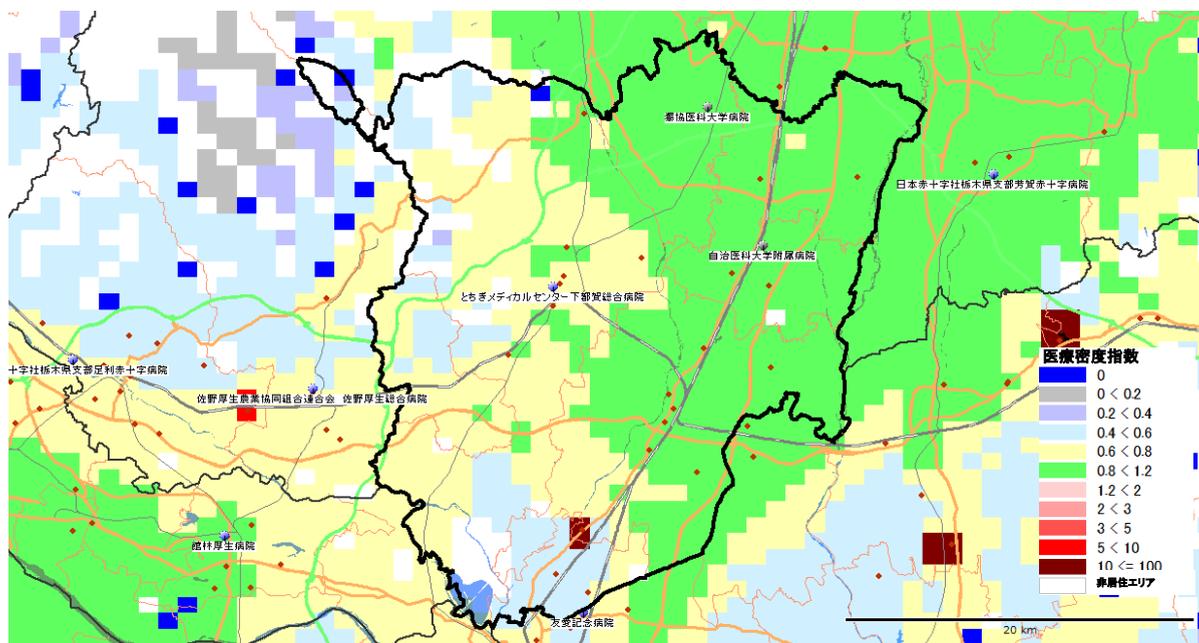


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表9-5-1 急性期医療密度指数マップ



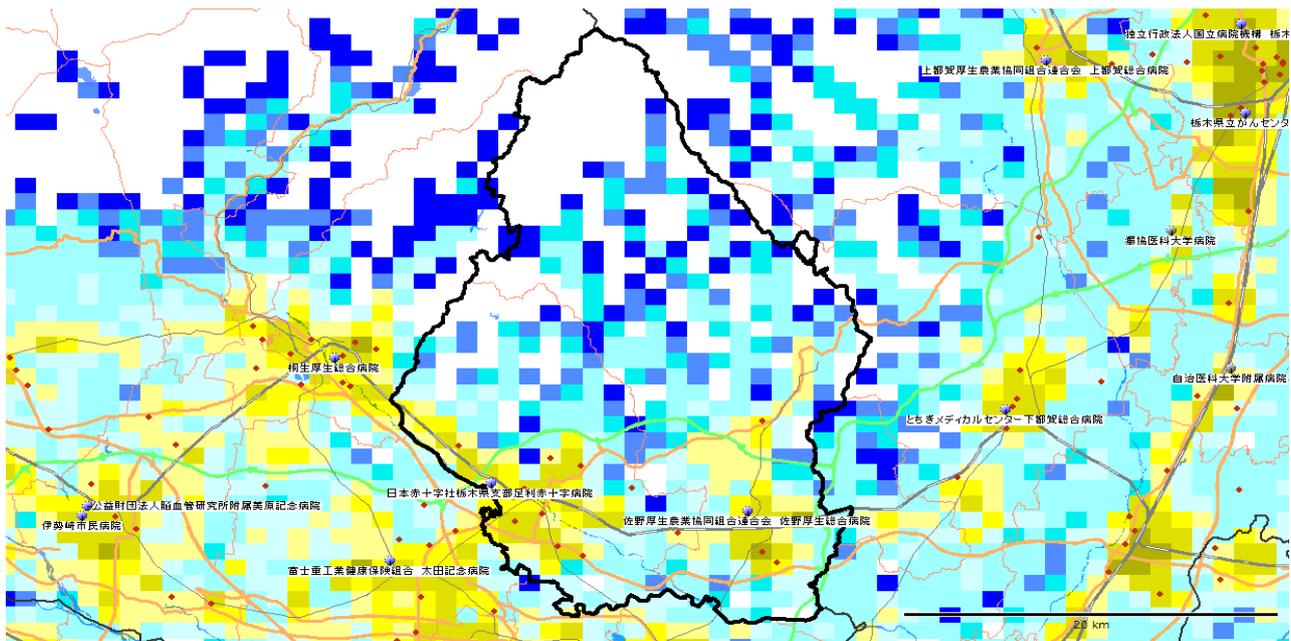
図表9-5-2 慢性期医療密度指数マップ



# 9-6. りょうもう 両毛医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [足利市](#) [佐野市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （両毛医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 両毛(足利市)は、総人口約265千人(2015年推計)、面積534km<sup>2</sup>、人口密度は497人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 両毛の総人口は2025年に241千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に199千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて47千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には44千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 両毛の一人当たり医療費(国保)は288千円(偏差値43)、介護給付費は243千円(偏差値47)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 両毛の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.99、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.1で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。両毛には、年間全身麻酔件数が2000例以上の足利赤十字病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の佐野厚生総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 両毛の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3481人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2072床(偏差値48)、高齢者住宅等が1409床(偏差値49)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3154人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム44、軽費ホーム55、グループホーム46、サ高住59である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、389人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-26%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

両毛医療圏の総人口は、2005年283682人が、2015年に265095人と7%減少し、2025年の人口が240793人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

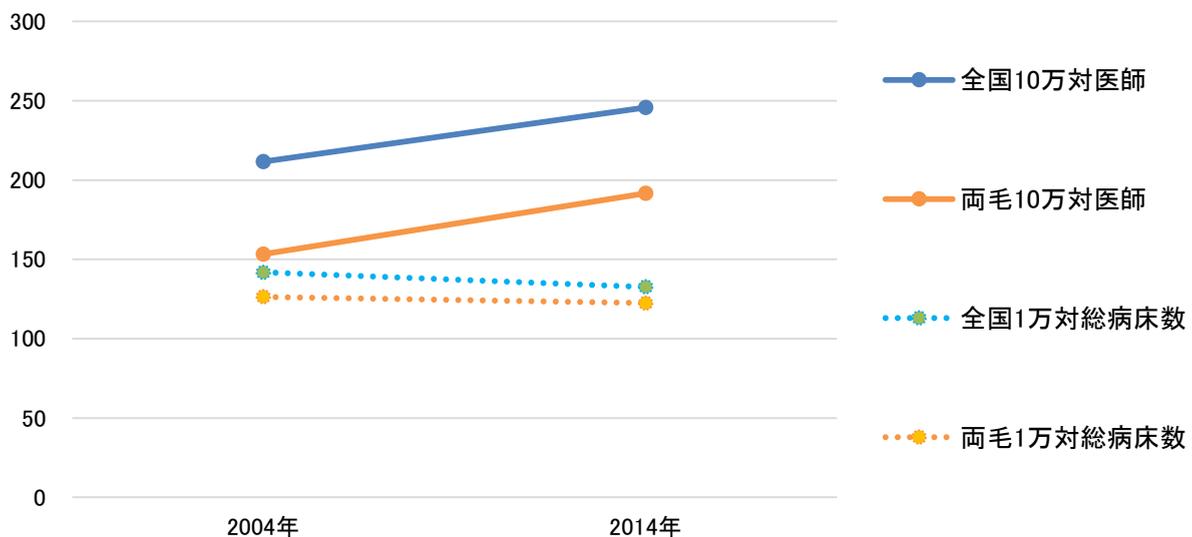
2004年の病院数が18(人口10万人当たり6.3病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に17(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が198(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に210(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、12診療所が増加した。

2004年の総病床数が3586床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に3246床(人口1万人当たり122(全国平均133)偏差値48)と、340床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

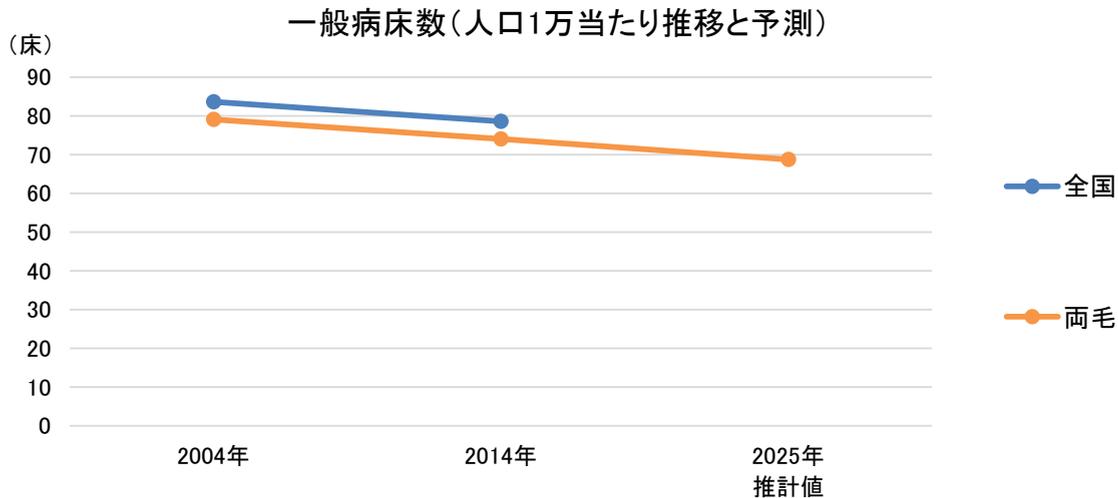
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が435人(人口10万人当たり153人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に508人(人口10万人当たり192人(全国平均246人)偏差値45)と、73人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



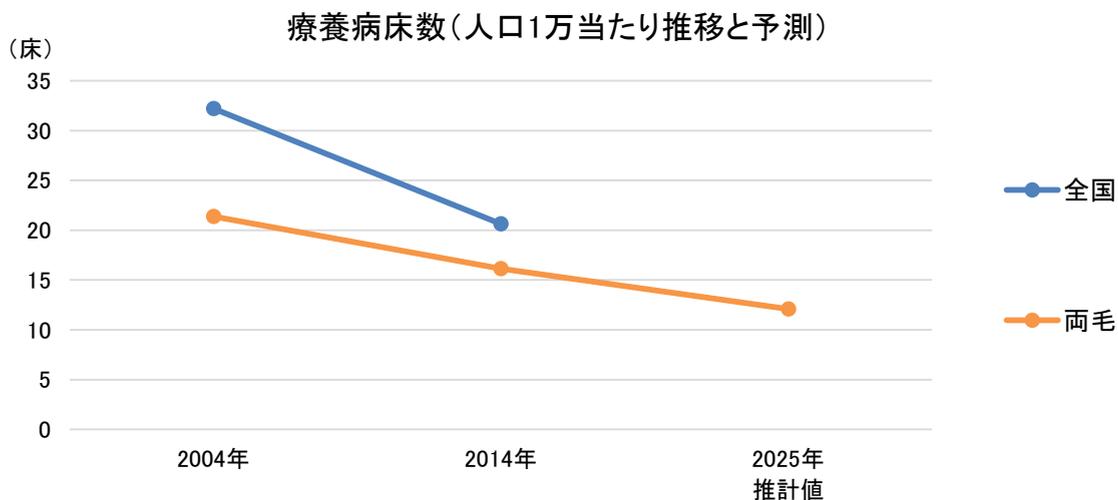
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2243床(人口1万人当たり79(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に1963床(人口1万人当たり74(全国平均79)偏差値48)と、280床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1655床(2025年の推計人口1万人当たり69)になることが予想される。



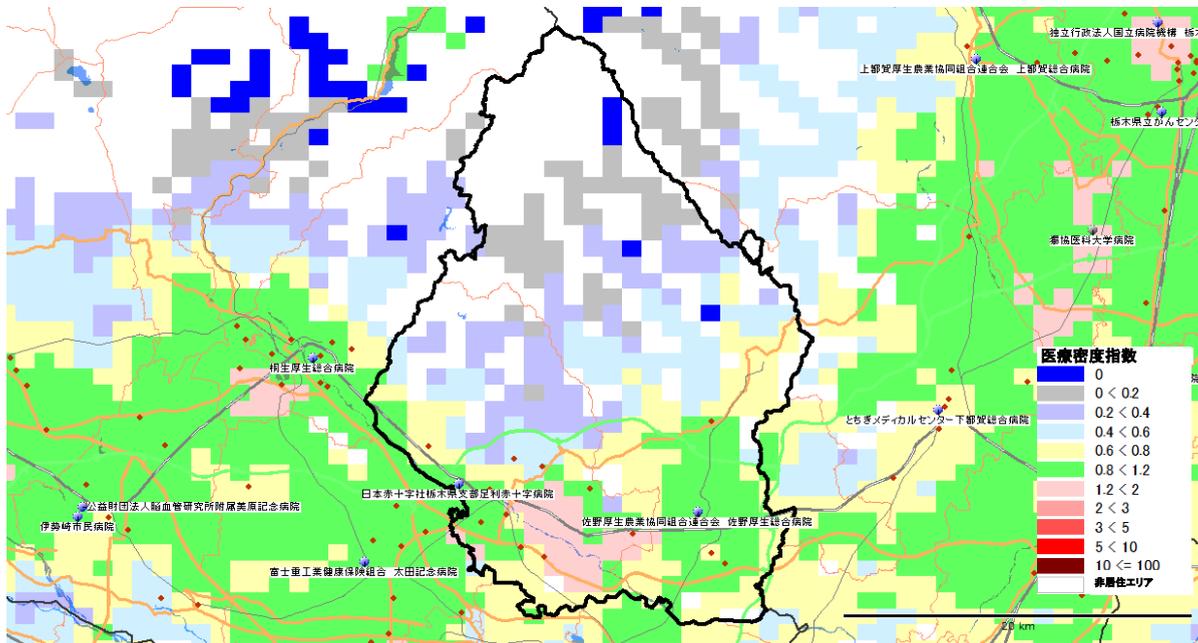
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が615床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2014年に590床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、25床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には563床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

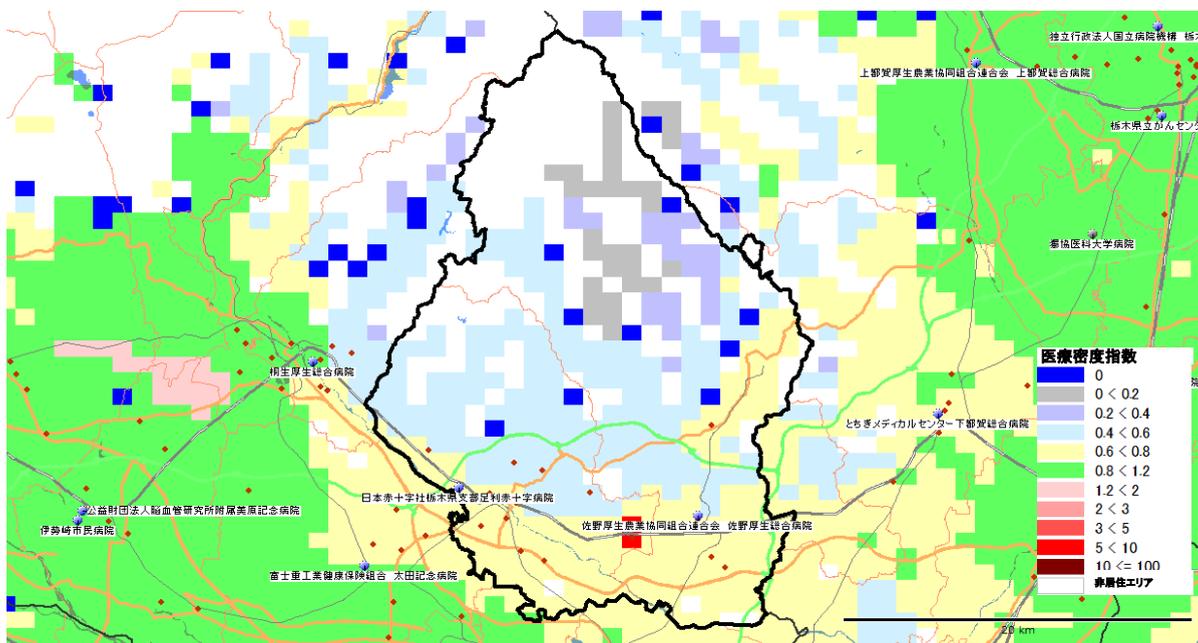


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表9-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-6-2 慢性期医療密度指数マップ



## 9. 栃木県（2016年版）

### 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画（1km<sup>2</sup>メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km<sup>2</sup>以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km<sup>2</sup>）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km<sup>2</sup>未満）。白色は非居住地。  
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。